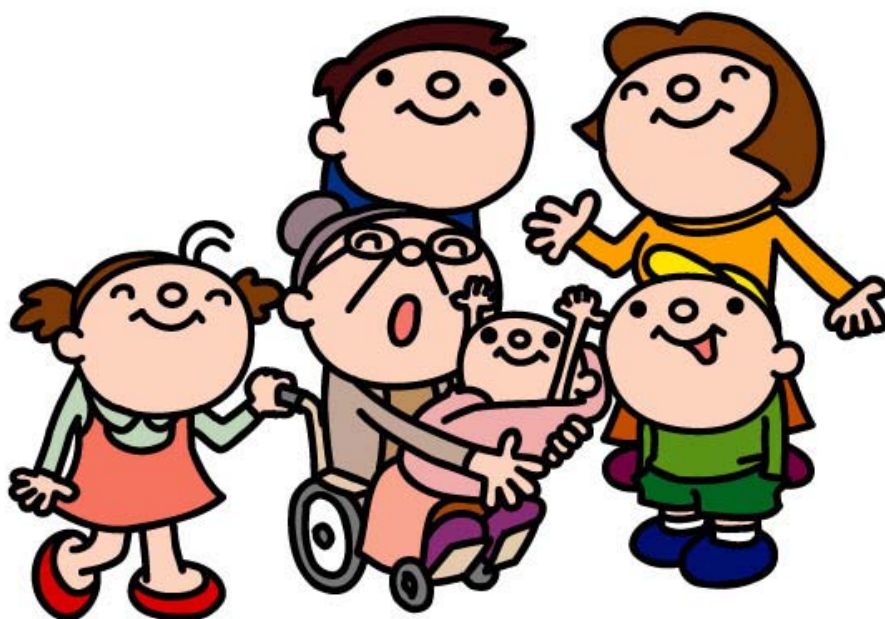


平成23年度  
宮崎市地域コミュニティ活動交付金活用事業  
評価報告書



平成24年9月

宮崎市地域コミュニティ活動交付金評価委員会



## 目 次

1	はじめに	P. 1
2	評価の概要	P. 1
3	地域別評価	
	○中央東地域自治区	P. 3
	○中央西地域自治区	P. 5
	○小戸地域自治区	P. 7
	○大宮地域自治区	P. 9
	○東大宮地域自治区	P. 11
	○大淀地域自治区	P. 13
	○大塚地域自治区	P. 15
	○檉地域自治区	P. 17
	○大塚台地域自治区	P. 19
	○生目台地域自治区	P. 21
	○小松台地域自治区	P. 23
	○赤江地域自治区	P. 25
	○木花地域自治区	P. 27
	○青島地域自治区	P. 29
	○住吉地域自治区	P. 31
	○生目地域自治区	P. 33
	○北地域自治区	P. 35
	○佐土原地域自治区	
	佐土原小学校区	P. 37
	那珂小学校区	P. 39
	広瀬小学校区	P. 41
	広瀬北小学校区	P. 43
	広瀬西小学校区	P. 45
	○田野地域自治区	P. 47
	○高岡地域自治区	P. 49
	○清武町合併特例区	
	清武地域	P. 51
	加納地域	P. 53
4	総合評価	P. 55
5	参考資料	P. 58

## 1 はじめに

各地域自治区・合併特例区において地域コミュニティ活動交付金を活用したまちづくりの取り組みが始まり、3年が経過した。

平成23年度は、宮崎市内の20の地域自治区と清武町合併特例区において、各地域自治区地域協議会・合併特例区協議会のもと、活動の実践組織である26の地域まちづくり推進委員会が、それぞれの地域課題を解決するため、事業に取り組んだ。

本報告書は、地域コミュニティ活動交付金評価委員会が、地域コミュニティ活動交付金の使途の透明性を確保し、より良いまちづくりを推進するために、各地域の取り組み・事業についての評価をまとめたものである。

## 2 評価の概要

### (1) 評価項目

#### ① 総合評価（地域別）

個別の地域のまちづくりに対する総合評価

#### ② 事業別評価（地域別）

ア 監査機能としての評価（全事業）

イ まちづくり推進としての評価（ピックアップ事業）

#### ③ 総合評価（全体）

市全体のまちづくりに対する総合評価

### (2) 評価方法

#### ① 書類審査

各地域から提出された実績報告書の書類審査

#### ② 実地調査

評価委員会委員による事業の実地調査

#### ③ ヒアリング

評価委員会委員による各地域まちづくり推進委員会に対する聞き取り調査

## 【事業別評価（ア 監査評価）の見方】

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目	金額	備考		
地域コミュニティ活動交付金（申請額）	1,200,000円	（参照）交付内示額 1,300,000円		
22年度からの繰越金	100,000円	各種団体からの負担金や、参加者が負担する材料費などの合計		
受益者負担金ほか	100,000円			
合計	1,400,000円			
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	○○○○○○○○○○事業	250,000円	適切	
福	△△△△△△事業	150,000円	適切	
環	□□□□事業	150,000円	要改善	交付金の使途のルール上、改善すべき内容のある事業に記載しています。
再	○○○○○○	250,000円	適切	
健	△△△△△△	100,000円	適切	
伝	□□□□事	100,000円	適切	
教	○○○○○○	150,000円	適切	
他	△△△△△△	150,000円	適切	
合計		1,300,000円	—	
24年度への繰越金		100,000円	—	

23年度に当地域に配分された地域コミュニティ活動交付金

事業の分野は以下の略称で掲載しています。  
 「防」… 防犯・防災  
 「福」… 地域福祉  
 「環」… 環境  
 「再」… 地域再生  
 「健」… 健康づくり  
 「伝」… 伝統文化  
 「教」… 地域教育  
 「他」… その他

収入の部(合計)－支出の部(合計)

### 3 地域別評価

#### ○中央東地域自治区（中央東まちづくり推進委員会）

##### まちづくりの活動方針（テーマ）

～人づくり心づくりで すげえまち中央東を次の世代へ贈ろう～

##### ① 総合評価

商業施設等が多く、人口の多い地域でありながらも、防災や環境、健康づくり、地域交流などさまざまな事業に取り組まれている。特に防災面に関しては、いつ起こるかわからない災害に対して、自治会等はもちろんのこと、今後は商業施設などとも連携した取り組みが必要である。

また、事業をより充実させるため、そして現在のスタッフなどが継続して事業に携われるよう、人材育成やその確保、また、部会同士の連携を強化していただきたい。

##### ② 事業別評価

###### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	2,152,788円	（参照）交付内示額 5,868,422円	
	22年度からの繰越金	1,118,405円		
	受益者負担金ほか	88,596円		
	合計	3,359,789円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	中央東地区防災訓練事業	143,733円	適切	
防	中央東地区防災マップ活用事業	52,104円	適切	
環	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業	266,349円	適切	
環	エコ講演会事業	77,194円	適切	
福	中央東健康づくり事業	111,199円	適切	
福	中央東げんきづくり事業	182,372円	適切	
福	ふれあいカローリング事業	76,120円	適切	
再	ものづくりで育む地域交流事業	137,897円	適切	
再	大淀河畔たまゆらまつり事業	406,775円	適切	
再	中央東地区十五夜まつり事業	482,974円	適切	
再	栄町児童公園ふれあいまつり事業	244,278円	適切	
他	事務局管理運営事業	152,500円	適切	
	合計	2,333,495円	—	
	24年度への繰越金	1,026,294円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆中央東地区防災マップ活用事業

概要	「防災学習」として、講演および災害図上訓練の進め方の指導を受けた。
目的	災害時に必要な身近な知識と地域の問題点や情報を再確認する。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の防災に対する意識の高揚につながった。</li> <li>・地域や近隣の助け合いの大切さを学ぶことができた。</li> </ul>
工夫した点	開催前に地区内自治会長へ必要な訓練内容等についてアンケート調査を行った。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街自治会やマンション自治会などの全自治会の参加</li> <li>・多くの人に知ってもらうための、継続的な活動</li> </ul>
評価委員会からの提言	防災意識は、根気強い活動の継続から生まれる。都市型の防災訓練にはさまざまな地域住民や商業者などを巻き込む必要がある。今後も各種防災関連団体および自治会、学校等と連携し、事業を実施していただきたい。また、防災マップの定期的な見直しを行いながら、マップを活用した訓練の実施にも期待したい。

### ◆生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業

概要	生ごみを減量するため、講習会およびフォローアップ講座・花の寄せ植え講座を開催した。
目的	環境に対する市民意識の醸成を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組み家庭の生ごみが少なくなった。</li> <li>・高齢者にとってはごみ捨てが楽になっている例もある。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加しやすいよう、小学校区ごとに開催した。</li> <li>・花の寄せ植え教室と併せて実施することで、堆肥の有効活用例を紹介している。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に参加してもらう。</li> <li>・受講者が継続して取り組めるようにする。</li> </ul>
評価委員会からの提言	マンションの多い地域では、生ごみのほとんどが燃えるごみとして出されているという実態に対応しようとする事業となっている。環境活動は身近なところで地道な活動の継続が求められ、時間を要する事業であるため、根気強く活動していただきたい。また、受講者がダンボールコンポストによる活動を継続するための工夫や方法を検討し、より効果的な取り組みとなるようにニーズ把握なども行っていただきたい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	24,176人
世帯数	13,142世帯
小中学校（公立）	宮崎小学校、江平小学校、宮崎東中学校
事務所	中央東地域事務所（橘通西3丁目10番32号）

※人口および世帯数は、住民基本台帳に基づき、地域コミュニティ活動交付金を算定する際に用いた数値を掲載しています（以下、各地域も同様）。

## ○中央西地域自治区（中央西まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

文化あふれ、生きいき元気なまち 中央西

### ① 総合評価

中央西地域にある宮崎公立大学や南九州大学との連携を生かした活動が展開されている。専門的な知識や技術を持つ諸団体との連携により活動が広がり、スタッフなどの負担も軽減されるものと思われる。

また、大学のゼミ単位等で連携している事業を、大学全体との連携まで広げることで、より活動の幅が広がることも期待される。これは、地域にとってはもちろん、大学にとっても、学生が地域の中で地域住民とともに生活を送る上で、非常に大切なことであると考えられる。

今後も引き続き、地域の各種団体と連携を図りながら、高齢者を含めた幅広い世代の地域課題の解決につながる事業を実施していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	1,844,646円	（参照）交付内示額 4,441,794円	
	22年度からの繰越金	1,191,739円		
	受益者負担金ほか	61,615円		
	合計	3,098,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	中央西地区防犯パトロール隊事業	51,587円	適切	
防	中央西地区防災訓練事業	108,600円	適切	
防	中央西地区青色パトロール隊事業	402,845円	適切	
福	健康ふくしまつり事業	431,022円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
福	食事で楽しく健康づくり事業	203,006円	適切	
再	中央西地区親睦ミニバレーボール大会事業	72,091円	適切	
再	中央西地区大運動会事業	530,397円	適切	
再	ICTを生かしたまちづくり事業	122,645円	適切	
再	国際交流事業	123,706円	適切	
環	リサイクル事業	42,726円	適切	
環	EMで快適な生活空間事業	27,082円	適切	
教	星を見る会事業	68,450円	適切	
教	子どもとおとなの交流会事業	220,173円	適切	
教	夏休み課題教室事業	65,709円	適切	
他	中央西フリーマーケット事業	32,975円	適切	
	合計	2,503,014円	—	
	24年度への繰越金	594,986円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆中央西地区大運動会事業

概要	地区体育会と共催し、地域内の全自治会が参加する全地域住民の交流の場として大運動会を開催した。
目的	スポーツを通じて地域間や世代間の交流を深めるとともに、各自治会や地縁団体、住民相互の連携を図る。
効果	年々参加者が増えており、本事業参加をきっかけとした自治会加入者も見られる。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの中学生にボランティアとして協力してもらった。</li> <li>・地域の施設にも声かけをした。</li> </ul>
今後の課題	自治会未加入者への呼びかけおよび参加しやすい環境づくり
評価委員会からの提言	<p>40年続く大運動会を継続するのは大変な苦労があると想像できる。各種団体等が連携して取り組み、内容の見直しを図ることで、参加者数は増えている。</p> <p>もともと、体育会が主体となって実施してきた伝統ある地域行事であるが、まちづくり推進委員会と地区体育会との関係および事業の棲み分けについても、今後検討する必要がある。</p>

### ◆子どもとおとなの交流会事業

概要	南九州大学と連携して、食に関する講座を行った。
目的	食を通して子どもと大人の交流を図る。
効果	事業実施により、地域の一員である大学生と地域との交流にもつながっている。
工夫した点	小・中学校の児童・生徒を通してチラシを配布した。
今後の課題	大学のスケジュール等との調整となるため、他事業の実施にも影響がある。
評価委員会からの提言	<p>「食」という関心の高い事項での事業展開により、参加者の満足度の高い事業が展開されているようである。本事業がどのような効果をもたらしたのかをしっかりと検証し、今後、さらに交流を図るための手法についても検討していただきたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	19,307人
世帯数	9,619世帯
小中学校（公立）	西池小学校、宮崎西中学校
事務所	中央西地域事務所（祇園1丁目49番地）

## ○小戸地域自治区（小戸まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

ずっと住み続けたい ほっとするまちづくり

### ① 総合評価

市内中心部に位置し、多くの繁華街を抱える地域である。その中でも、各種団体や学校等と連携し、さまざまな事業に取り組まれている。

防犯や防災に関する事業では、地域の一員である商業者なども巻き込むことで、大きく課題解決に進展するものもあると考えられる。少しずつではあるが、地道に取り組んでいただきたい。

今後も、地域のニーズ把握に努めていただき、課題解決につながる事業を展開していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,803,858円	（参照）交付内示額 3,187,713円	
22年度からの繰越金		742,142円		
受益者負担金ほか		531,900円		
合計		4,077,900円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防災訓練事業	620,339円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
防	災害積立基金事業	400,000円	適切	
福	情報交換会事業	135,638円	適切	
福	ふれ合い会食会事業	90,186円	適切	
環	花のまち事業	152,880円	適切	
健	小戸スポーツ祭事業	40,352円	適切	
健	球技大会事業	37,772円	適切	
伝	しめ縄飾り体験事業	222,019円	適切	
教	研修会事業	158,565円	適切	
教	自然であそぼ！事業	324,440円	適切	受益者負担金の再検討
教	共に生きよう！子ども達からの発信事業	344,070円	適切	
教	日本一が小戸小へやってくる！事業（小戸小）	104,674円	適切	
他	まちづくり広報事業	453,205円	適切	
合計		3,084,140円	—	
24年度への繰越金		993,760円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆防災訓練事業

概要	防災資機材の使い方や車椅子体験、炊き出しなどの防災訓練を実施した。
目的	地域住民の防災意識を高めるとともに、地域の絆を再確認する。
効果	さまざまな体験型訓練を行うことで、防災に対する住民の意識高揚につながった。
工夫した点	・訓練当日は広報車による案内を実施した。 ・車椅子で要援護者の救出訓練を実施した自治会もあった。
今後の課題	地震や津波など、テーマや内容を変えた訓練を実施する。
評価委員会からの提言	毎年同じ内容にとどまることなく、新しいことを取り入れて実施されている。地震や津波など、はっきりとしたテーマを決めにくい地域ではあるが、ぜひ災害の種類などを絞って取り組んでいただきたい。

### ◆自然であそぼ！事業

概要	西米良村で宿泊体験し、現地児童と交流を行った。
目的	生活環境の違う地域との交流を通し、自分の住む地域の良さを見直すとともに、子どもの自立を促すきっかけをつくる。
効果	子どもたちは普段できないことを体験することができた。
工夫した点	P T Aや学校が中心となって実施した。
今後の課題	継続するための方法を工夫する。
評価委員会からの提言	「小学生の交流」というテーマで、さまざまな事業に展開させるきっかけとなった事業である。しかし、市内にもさまざまな特徴を持った地域・学校がある。市内交流とすることで、宮崎市の各地域について学ぶ機会にもなるほか、準備や費用、移動時間なども軽減されるため、継続しやすい事業となると考えられる。今後、場所の選定を再検討していただきたい。また、まちづくり推進委員会の事業として実施する目的や地域課題の整理の観点からも再検討をお願いしたい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	11,056人
世帯数	6,623世帯
小中学校（公立）	小戸小学校
事務所	小戸地域事務所（鶴島2丁目18番23号）

## ○大宮地域自治区（大宮地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

みんなが安心して暮らせる 明るく住みよいコミュニティ大宮

### ① 総合評価

歴史や文化、環境など、多くの地域資源に恵まれた地域であり、幅広い分野で事業に取り組まれている。特に、地域教育にかかる事業については、関係団体などしっかりと連携し、情報共有やニーズ把握に取り組まれている。また、どの地域も課題としている高齢者福祉問題について、実態調査を実施されている。

どのような地域課題の解決も大変難しいものであるが、部会同士や各種団体と連携を図りながら、少しずつ取り組みを進めていただきたい。また、一人暮らしの高齢者等の生活実態調査事業の結果を活用しながら、他地域の参考となるような先駆的な取り組みを期待している。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		4,923,000円	（参照）交付内示額 4,923,000円	
22年度からの繰越金		1,240,694円		
受益者負担金		100,000円		
合計		6,263,694円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地震時の防災訓練事業	953,006円	適切	
防	とっさの時の安心ネットワーク事業	156,329円	適切	
防	安全・安心の防犯パトロール事業	117,630円	適切	
福	高齢者福祉講習会事業	116,018円	適切	
福	一人暮らしの高齢者等の生活実態調査事業	293,317円	適切	
環	地域の憩いの場、水辺づくり事業	549,905円	適切	
健	大宮地区ウォーキング大会実施事業	274,850円	適切	
健	大宮地区スポーツ・健康フェスタ実施事業	673,110円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
健	宮崎市地区対抗駅伝大会参加事業	77,216円	適切	
健	大宮地区グラウンドゴルフ大会実施事業	91,986円	適切	
教	石碑解説事業	657,973円	適切	
教	学校への支援事業	171,420円	適切	
教	「新成人」に対するまちづくり啓発事業	244,298円	適切	
教	花づくり講習会事業	78,290円	適切	
他	広報誌の発行事業	647,475円	適切	
他	リーダー育成事業	400,000円	適切	
合計		5,502,823円	—	
24年度への繰越金		760,871円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆一人暮らしの高齢者等の生活実態調査事業

概要	一人暮らし高齢者と高齢者のみの世帯の生活実態調査を行い、問題点の抽出を図った。
目的	一人暮らし高齢者と高齢者のみの世帯の生活実態調査により、高齢者への支援の有効な方法を探る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の高齢者の買い物や通院方法などの現状把握ができた。</li> <li>・ 災害時など、防災面にも活用できる情報である。</li> </ul>
工夫した点	地区社会福祉協議会や地区民生児童委員、自治会などと連携して行った。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回回答のなかった人の生活実態の把握などが必要である。</li> <li>・ 他部会や各種団体と協力し、どのように調査結果を生かしていくか検討する。</li> </ul>
評価委員会からの提言	大宮地域だけではなく、他地域にも共通する課題である。個人情報取り扱い等もあり、調査結果の生かし方が難しい点はあるが、ぜひ一歩進んで、地域だからこそできる事業を展開していただきたい。また、さまざまなニーズに応える方法の一つとして、民間事業者との提携なども視野に入れながら検討される余地はある。

### ◆学校への支援事業

概要	地域内の小中学校の授業や行事に参加し、支援した。また、子どもたちと地域住民とのふれあい活動などを実施した。
目的	子どもたちの健全な育成を見守る。
効果	学校との連携につながっている。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登館日（児童が自治公民館に集う日）を設け、地域について勉強する行事を行った。</li> <li>・ 教員やPTA、各種団体などの協議の場を設けている。</li> </ul>
今後の課題	地域と学校が話し合う場を増やす必要がある。
評価委員会からの提言	地域まちづくり推進委員会のほか、教員やPTAなど、多くの関係者が連携して、定期的に話し合う場を設けられていることはすばらしい。「学校が地域に求めるもの」についてさまざまな取り組みがされており、今後、「地域が学校に求めるもの」についてもぜひ話し合ってもらい、互いの活性化にもつなげていただきたい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	24,858人
世帯数	11,185世帯
小中学校（公立）	大宮小学校、池内小学校、大宮中学校
事務所	大宮地域事務所（下北方町下郷6101番地）

## ○東大宮地域自治区（東大宮地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

笑顔でいきいきあいさつ みんなで創る健康で 明るいまち東大宮

### ① 総合評価

いろいろな発想で、多分野の事業を展開されている地域である。

23年度には「みんなおいでよ！夢はうす」というふれあいサロンを開設しており、このサロンが今後のさまざまな地域活動の拠点として活用されることが期待される。

今後も地域住民のニーズをしっかりと把握し、課題解決のための事業に取り組んでいただきたい。また、各種団体や学校とのさらなる連携はもちろん、NPOなどの専門的知識を持つ団体などとの連携や自治会未加入者などへの広報のあり方についてもぜひ検討していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		3,858,436円	（参照）交付内示額 4,461,980円	
22年度からの繰越金		759,564円		
受益者負担金ほか		199,232円		
合計		4,817,232円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域防災訓練事業	100,362円	適切	
防	防犯パトロール見守り事業	184,800円	適切	
防	防災マップ作成事業	387,150円	適切	
福	（仮称）ふれあいサロン設置事業	473,660円	適切	工事請負にかかる協議の徹底
福	（仮称）ふれあいサロン運営事業	981,372円	適切	
福	地域のおじいちゃんおばあちゃん事業	24,694円	適切	
福	福祉部会研修事業	29,450円	適切	
福	東大宮地区健康ふくしまつり	241,455円	適切	
環	新別府川環境整備事業	47,700円	適切	
環	大島通線花舞街道創作事業	203,137円	適切	
環	生ごみ堆肥化ダンボールコンポスト事業	103,666円	適切	
健	新別府川堤防エコウォーキング大会	28,710円	適切	
健	東大宮ギネス2012	118,379円	適切	
健	介護予防運動教室	91,000円	適切	
再・伝	農業交流体験事業	115,046円	適切	
再・伝	篠笛体験教室	53,717円	適切	
再・伝	東大宮地域神楽鑑賞ツアー	7,647円	適切	
他	地域まちづくり推進委員会活動費	514,185円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
合計		3,706,130円	—	
24年度への繰越金		1,111,102円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆大島通線花舞街道創作事業

概要	家族や職場などで協力し合い、街路樹の根元のマス花壇に花を植えた。
目的	地域を縦断する大島通線を、地域のシンボルロードとして花のある通りにする。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店や自治会などの協力もあり、地域のつながりが生まれている。</li> <li>・ 花の咲いている様子を見て、今後参加したいという声があった。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校2校へのチラシ配布により、親子の参加もあった。</li> <li>・ 水やりの回数が少ない品種を選んだ。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの地域住民に参加してもらおう。</li> <li>・ より多くの沿線商店などの協力を求める。</li> <li>・ 継続できるよう、活動者が疲れのないような工夫（多年草の植栽など）が必要である。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>交通量の多い通りであるため、花のある景観は地域住民はもちろん、道路通行者にとっても心地よいものとなっている。作業中の安全確保について、引き続き注意しながら実施していただきたい。</p> <p>より多い参加者を得るためにも、地域のニーズをしっかりと把握し、事業の必要性などを広報しながら事業を展開していく必要がある。</p>

### ◆農業交流体験事業

概要	地域内の畑で野菜（サツマイモ・トウモロコシ・ダイコン）を作り、交流を深めた。
目的	作物の育成活動を通して、地域住民の交流を図る。
効果	地域住民の交流につながった。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者負担金を徴収することで、責任を持って継続して参加していただいた。</li> <li>・ 農業従事者が多いという地域の特性を活かした事業である。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地主の負担を軽減する。</li> <li>・ 定員があるものの、より多くの地域住民が参加できる仕組みづくりが必要である。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>現在は、交流やニーズ把握を目的としているが、将来、貸し農園事業を目標とされていることは期待したい。実現にはさまざまな課題があると思われるが、活動の推進や負担軽減などのために、NPOなどとの連携を図ることも一つの方法である。</p> <p>休耕地が増える中、当地域の都市型農業の取り組みを見守りたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	17,577人
世帯数	7,871世帯
小中学校（公立）	宮崎東小学校、東大宮小学校、東大宮中学校
事務所	東大宮地域事務所（村角町島ノ前1346番地1）

## ○大淀地域自治区（大淀地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

「光る川 天神の森 人が輝く住みよい 大淀」  
 ～笑顔が花咲く やさしいまち 大淀～

### ① 総合評価

各種団体と連携し、単に実施するのではなく、住民のニーズを把握して事業効果を上げる工夫がされている。また、地域の文化や歴史を大切にし、地域住民自ら掘り起こしをされている点は、今後のまちづくりに生かせることが多くあると考えられる。

多くの事業を展開するには大変な労力がかかるが、今後も各種団体や部会同士の連携を密にするとともに、人材育成・確保にも努めていただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		5,654,811円	（参照）交付内示額 5,655,232円	
22年度からの繰越金		600,924円		
自己資金		5,265円		
合計		6,261,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	大淀ブルーパトロール隊巡回事業	377,359円	適切	
防	災害対策ネットワーク事業	23,560円	適切	
防	災害時対応積立事業	300,000円	適切	
防	自主防災組織の整備事業	319,580円	適切	
防	大淀地区の防災マップ等作成事業	735,000円	適切	
防	大淀地区の危険箇所を把握する調査事業	7,875円	適切	
防	生活安全ネットワーク事業	10,070円	適切	
福	大淀地域子育て支援事業	159,849円	適切	
福	地域の絆を強める写真会開催事業	369,262円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
環	大淀地域に於ける“里山づくり”推進事業	392円	適切	
環	“ごみ”のポイ捨てなどの防止啓発事業	660,058円	適切	
環	“資源ごみ”分別の適正化啓発事業	8,503円	適切	
伝	大淀に分布する文化財等のマップ作成事業	599,320円	適切	
健	ふれあい健康ウォーキング大会	163,596円	適切	
健	世代間交流ふれあいグラウンドゴルフ大会	74,528円	適切	
他	大淀地域まちづくり掲示板設置事業	1,165,500円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	大淀地域まちづくり事務局整備事業	112,515円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	大淀地域まちづくりネットワーク事業	68,500円	適切	
他	情報活動推進事業	499,800円	適切	
合計		5,655,267円	—	
24年度への繰越金		605,733円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆大淀に分布する文化財等のマップ作成事業

概要	「文化財分布図」を自治公民館や小・中学校などに配布した。また、「大淀史跡めぐりマップ」を作成し、地域住民や学校などに配布した。
目的	地域内に分布する史跡（文化、歴史）を通して、住民が「大淀の風土」を再認識し、誇りと郷土愛を育み、地域の連帯・一体感を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大淀史跡めぐりマップ」は小学校の学習資料として使用されることとなった。</li> <li>・さんさんクラブなどの地域団体にも活用されている。</li> </ul>
工夫した点	地域住民の知らない文化や歴史を部会員自らが情報収集し、作成した。
今後の課題	作成したマップの有効活用
評価委員会からの提言	<p>マップ作成には多くの苦勞などがあつたと想像される。しかし、完成したマップはこれからさまざまな活用が期待され、地域の連帯感や一体感を図るための一つの材料として役立つものと思われる。</p> <p>次のステップである「活用の仕方」はさまざまである。例えば、ウォークラリーでの活用や親子ツアーの企画など、今後の活用に期待したい。</p>

### ◆世代間交流ふれあいグラウンドゴルフ大会

概要	親子ペアや祖父母と孫ペア、小学生、中学生、成人の5部に分け、グラウンドゴルフ大会を開催した。
目的	世代間交流の輪を広げ、スポーツの楽しさを学び、地域や家庭の生活をより豊かにする。
効果	年々参加者が増えている。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの部を設け、参加を促した。</li> <li>・大会前に部会員が小学校へ出向き、練習を実施した。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛好家だけでなく、地域の多くの人に参加してもらう工夫をする。</li> <li>・雨天時の種目や会場などを検討する。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>三世代でできるスポーツとして、グラウンドゴルフを実施されている。事前に小学校で部会員による練習やルール指導をされるなど、大会当日だけでなく準備段階から継続を意識した事業となっている。また、中学生や高校生などがボランティアとして協力し、事業運営も上手く行われている。</p> <p>今後、グラウンドゴルフ以外の競技なども検討されたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	23,188人
世帯数	10,752世帯
小中学校（公立）	大淀小学校、古城小学校、大淀中学校
事務所	大淀地域事務所（大坪町西六月2211番地1）

## ○大塚地域自治区（大塚地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

次世代も 笑顔あふれる 幸せな街 大塚

#### ① 総合評価

大塚地域あいさつ運動事業やふれあいサロン開設事業など、地域住民が顔を合わせ、交流につなげようという、アパートやマンションの多い地域ならではの事業に取り組まれている。また、各部会員の個々の活動力もあり、地域での細かな事業が展開されている。

現場から得た声を生かした事業が数多く展開されており、ニーズ把握や事業間の連携、情報共有にもうまく取り組まれている。今後も各事業の目標を再確認し、課題解決に向けた取り組みの工夫をしていただきたい。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		4,249,730円	（参照）交付内示額 4,762,348円	
22年度からの繰越金		781,216円		
受益者負担金ほか		1,051,554円		
合計		6,082,500円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防災訓練事業	368,472円	適切	
防	危険箇所掘り起こし事業	96,698円	適切	
防	災害時対応積立基金事業	500,000円	適切	
防	見守り事業	109,455円	適切	
福	ふれあいサロン開設事業	215,134円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
福	子育て支援事業	63,829円	適切	
福	男女共同参画社会づくり事業	64,612円	適切	
福	福祉人材育成研修会共催事業	140,223円	適切	
福	大塚地域高齢者便利メモ（改訂版）作成事業	102,900円	適切	
健	メタボ対策料理教室事業	48,018円	適切	
伝	昔の懐かしい遊びを親子で遊ぼう事業	45,377円	適切	
環	ダンボールコンポスト講習会事業	77,769円	適切	
環	水流川クリーンアップと大塚の環境を語る事業	52,765円	適切	
教	陶芸教室事業	84,478円	適切	受益者負担金の再検討
教	江南小学校地区体育祭共催事業	617,856円	適切	
教	大塚町地区体育祭共催事業	707,141円	適切	
教	大塚地域あいさつ運動事業	498,290円	適切	
教	地域の達人に挑戦事業	88,941円	適切	
教	歩こう会共催事業	233,253円	適切	
他	大塚地域まちづくり広報事業	1,432,793円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	大塚地域まちづくりシンボルマーク事業	290,412円	適切	
合計		5,838,416円	—	
24年度への繰越金		244,084円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆ふれあいサロン開設事業

概要	月に1回程度、各自治公民館で、子どもから高齢者まで誰もが立ち寄れる居場所づくりを行った。
目的	住民が、人と人とのふれあいを大切にし、いつまでも住んでいたいと思えるまち、笑顔いっぱいの元気なまちを目指す。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三世代交流につながっている。</li> <li>・一人暮らしで外に出る機会の少ない高齢者にとって、地域とのつながりを得る機会となっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の空き時間を利用して実施した。</li> <li>・子ども（親子）を巻き込んだ事業内容とした。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの輪を広げるとともに、サロン同士の交流を図る。</li> <li>・新たな参加者を取り込む。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>福祉部会員が中心となり、各地域で民生委員と自治会とが連携して運営委員会を組織している。各部会員の活動力はさることながら、事業の反省点を次に生かすなど、計画的にサロンを運営されている。</p> <p>今後も事業内容を充実させながら、三世代交流を促す事業内容の工夫のほか、常設サロンの検討などにも期待したい。</p>

### ◆福祉人材育成研修会共催事業

概要	介護保険制度や介護保険のサービスについて地域住民が学び合い、福祉施設を実際に見学して理解を深めた。
目的	地域の福祉に生かす。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して、これまで以上に部会員の意識が高まった。</li> <li>・一般参加者の不安などが解消されているようであった。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロンでよく聞かれる声をもとに実施した。</li> <li>・複数の班に分かれて視察した後互いに発表を行い、情報共有をした。</li> </ul>
今後の課題	今回の研修をもとに、より有効な地域福祉に関する事業を展開する。
評価委員会からの提言	<p>視察する施設の選定などに配慮が必要な事業であるが、潜在ニーズの高い事業であり、ふれあいサロンなどで得た声を事業化したものであった。将来、地域でライセンス制度などを設け、人材をまちづくりに生かしたいという夢も持たれているようである。</p> <p>今後、本事業の成果を生かして、地域福祉に関する課題の解決に取り組まれることを期待する。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	21,057人
世帯数	9,283世帯
小中学校（公立）	大塚小学校、江南小学校、大塚中学校
事務所	大塚地域事務所（大塚町鎌ヶ迫2296番地3）

## 〇憶地域自治区（憶地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

憶に住んで良かった、憶に住みたいと思えるような、魅力あるまちに

### ① 総合評価

地域が広く人口も多い地域であり、さまざまなニーズがある中で、防災・防犯から福祉、環境、地域再生など、きめ細かに事業が展開されている。また、学校と連携した事業が多いのも特徴の一つである。全世代を対象とした事業はもちろんのこと、小・中学生から成人、子育て世代、高齢者を対象とした各事業が実施されており、各世代で地域にかかわるきっかけをつくっていることは大変有効である。今後、事業成果などを分析していただき、的確な事業選定を行うとともに、活動に参画する地域住民を増やしていくことが期待される。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		5,530,245円	（参照）交付内示額 7,171,000円	
22年度からの繰越金		1,228,755円		
受益者負担金		3,000円		
合計		6,762,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	憶地域防災訓練事業	149,944円	適切	
防	憶地域青色パトロール推進事業	435,353円	適切	
福	子育て支援事業	235,518円	適切	
福	ふれあい会食会事業	384,863円	適切	
福	救急医療情報キット事業	435,390円	適切	
福	福祉情報誌制作事業	120,000円	適切	
環	一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業	396,175円	適切	
環	新別府川・江田川をきれいにする事業	772,340円	適切	
再	若者対話集会事業	17,330円	適切	
再	地域まちづくり掲示板設置事業	480,900円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
再	ふれあい広場inあおき事業	199,025円	適切	
健	みんなで楽しもう！憶地域スポレク祭典事業	210,570円	適切	
健	憶地域ふれあい球技大会事業	175,179円	適切	
健	歩こう会事業	74,449円	適切	
伝	あおき郷土芸能祭り事業	446,139円	適切	
伝	憶地域伝統芸能の継承・発掘・保存事業	69,734円	適切	
教	未来につなぐ体験スクール事業	64,365円	適切	
教	憶地域小・中学生交流事業	17,188円	適切	
教	ふるさと憶を調べよう事業（憶小）	90,672円	適切	
教	ホテルの幼虫を育てよう事業（憶北小）	99,997円	適切	
教	地域と防災について考えよう事業（潮見小）	111,195円	適切	
他	憶地域まちづくり推進委員会運営事業	890,715円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	災害時等対応積立事業	300,000円	適切	
合計		6,177,041円	—	
24年度への繰越金		584,959円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆新別府川・江田川をきれいにする事業

概要	外来種の植物の除去や散策会、ホタルの飼育・放流、河川水質調査、花の種まきなどを実施した。
目的	ふるさとの川である新別府川・江田川を、楽しめる、花の景観のある川にする。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続することで、地域住民の意識も徐々に変わってきている。</li> <li>・地域内の高校や事業所、授産施設などの協力も得られ、参加者が増えている。</li> </ul>
工夫した点	河川環境美化につながるような多面的な活動を展開した。
今後の課題	地域の各種団体やより多くの地域住民の協力を得る必要がある。
評価委員会からの提言	<p>もともと「環境」に対する意識がある地域であったが、地域まちづくり推進委員会の設立により形となった事業である。継続により、徐々に効果が出てきている。また、学校や事業所等の協力も得られており、地域住民に「地域の自然を守る」意識が広がっているようである。</p> <p>今後は、より効果的な活動とするためにも各河川の上流地域との広域的な連携も図っていくことも検討いただきたい。</p>

### ◆憶地域小・中学生交流事業

概要	地域内2中学校の生徒会が意見交換を行い、地域に対してできる取り組みなどを検討した。
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間の交流</li> <li>・子どもたちに地域とのかかわりを考えてもらう機会を設ける。</li> </ul>
効果	中学生の発案により、登下校時のごみ拾いやツ葉干潟の清掃活動など、地域に根を広げた活動が展開されている。
工夫した点	現在は生徒主体で実施しており、地域にかかわることについては大人が適宜支援を行っている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の保護者や地域内の小学校を巻き込んだ事業の展開</li> <li>・中学生の活動情報を多くの地域住民に周知する。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>次世代の地域を担う子どもたちに、地域に目を向けてもらいたいという本事業は大変意義があり、長期間に及ぶ人材育成ともいえる。</p> <p>今後、小学校を含めた活動を展開していくということであるが、まずは、生徒会や部活等の組織のある中学生が中心となって企画・実施し、そこに小学生が参加するという形から取り組む方法も検討していただきたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	39,865人
世帯数	18,297世帯
小中学校（公立）	憶小学校、潮見小学校、宮崎港小学校、憶北小学校、宮崎中学校、憶中学校
事務所	憶地域事務所（吉村町江田原甲265番地1）

## ○大塚台地域自治区（大塚台地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

地域の様々な課題を発掘し、住民主体となるまちづくりを目指す。地域住民が、一丸となって課題解決に取り組み、世代間で交流を深めながら、誇れるまちづくりを目指す。

### ① 総合評価

団地が造られて約40年の地域であり、少子高齢化が進んでいる。このような中、地域まちづくり推進委員会が各種団体の横の連携の要となり、課題解決のための事業に取り組まれている。また、中学生がボランティアとして参加する事業もあり、さらに活気が出ている。今後、保護者などの青壮年層の参加を増やす工夫も必要である。

事業全体を見てみると、事業参加者の年代に偏りがある事業が多いようである。次年度は幅広い参加が得られる事業計画も検討してもらいたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,390,000円	（参照）交付内示額 2,390,000円	
22年度からの繰越金		497,576円		
自己資金		529円		
合計		2,888,105円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域安全見守りパトロール事業	117,694円	適切	
防	防災マップ作成事業	91,823円	適切	
防	自主防災事業	176,988円	適切	
福	見守り活動事業	247,255円	適切	
福	ふれあいサロン活動事業	211,940円	適切	
福	大塚台団地福祉まつり事業	49,894円	適切	
環	里山創造活動事業	148,190円	適切	
環	地区内環境美化活動事業	71,982円	適切	
環	ペットのふん対策活動事業	17,513円	適切	
健	家族参加型ふれあいウォーキング大会事業	57,136円	適切	雨天中止
健	ふれあいスポーツ交流大会事業	195,916円	適切	
教	子どもの生きる力を育む事業	209,882円	適切	
教	地域交流事業	89,875円	適切	
教	次世代リーダー育成事業	87,893円	適切	
他	リーダー育成事業	45,740円	適切	
合計		1,819,721円	—	
24年度への繰越金		1,068,384円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆里山創造活動事業

概要	里山創造作業（散策道や竹林等の整備、定期的な除草作業など）を行った。
目的	地域住民のふれあいと憩いの場をつくとともに、子どもに自然とふれあう場を提供する。また、住民の健康増進を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流とともに、教育の場にもなっている。</li> <li>・子どもクラブや高齢者クラブなどにも利用されている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域住民が参加できるよう、休日の作業日を増やした。</li> <li>・豊富な自然素材を生かし、教室などを開催している。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース内に急傾斜地もあるため、高齢者等が利用しやすい整備も考える必要がある。</li> <li>・若い世代が参加する工夫が必要である。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>地域の中心にあり、地域住民が利用しやすい立地となっている。継続的な整備により、子どもたちが利用しやすい環境が整えられ、さまざまな自然体験などにつながっている。</p> <p>今後、より多くの地域住民が利用できる憩いの場となるよう、周知を含めて工夫していただきたい。また、他部会や各種地域団体、学校等の活動場所として利用されることも期待される。</p>

### ◆地域交流事業

概要	七夕や月見団子づくり、餅つき、豆まきなどの行事や、清掃活動などを行った。
目的	子どもたちに伝統的な風習を体験してもらうとともに、地域住民の交流を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のときに参加していた子どもたちが、現在は中学生ボランティアとして参加している。</li> <li>・中学生たちが地域の一員としての自覚を持ってきている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じた行事であるので、参加ごとにつながりが深くなっている。</li> <li>・自治会や子ども会、老人クラブなど地域の各種団体と連携した事業である。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時設定などにも考慮しているが、保護者の参加が少ない。</li> <li>・中学生が計画段階から率先して事業に入ってもらえるようにしたい。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>これまで単位子ども会等で取り組まれていた行事を、地域まちづくり推進委員会がさまざまな団体と連携して行っている事業である。各種団体が抱える課題等もあるが、「各種団体がすべき事業」と「地域まちづくり推進委員会と連携してすべき事業」の棲み分けを検討していかなければならない。また、地域まちづくり推進委員会が主体となった行事の企画にも期待したい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	7,568人
世帯数	3,420世帯
小中学校（公立）	宮崎西小学校
事務所	大塚台地域事務所（大塚台西2丁目18番地1）

## ○生目台地域自治区（生目台地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

子どもから高齢者まで、安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指す。

### ① 総合評価

団地という特性もあり、各種団体の連携や人材確保が上手くできている地域の一つである。また、各事業の目的をしっかりと見極め、体制づくりからスタッフの集め方など、目的やニーズに応じた事業の組み立てができていく点が評価できる。

特に、子どもを対象とした事業では地域の小・中学校の協力が得られており、地域が一体となった取り組みが展開されている。

今後、「生目台地域自治区まちづくり構想」の基本目標である「住む人みんなにやさしい生目台」の達成に向け、各事業結果の分析や改善を行いながら実施していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	2,608,000円	（参照）交付内示額 2,608,000円	
	22年度からの繰越金	526,265円		
	自己資金ほか	10,434円		
	合計	3,144,699円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域の安心・安全の点検及び改善・子どもの見守り事業	32,894円	適切	
福	ふれあいルーム運営事業	1,102,993円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
福	ひとり暮らし高齢者の健康チェック事業	49,142円	適切	
福	いきいきサロン事業	125,180円	適切	
環	里山整備事業	55,567円	適切	
健	スポレク生目台事業	25,481円	適切	
教	寺子屋事業	183,969円	適切	
他	子どもまつり事業	198,034円	適切	
他	子ども歳時記事業	87,654円	適切	
他	リーダー育成事業	241,155円	適切	
他	緊急時等積立事業	526,440円	適切	
	合計	2,628,509円	—	
	24年度への繰越金	516,190円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆いきいきサロン事業

概要	ふれあいルームで毎週土曜日の午前中にサロンを実施し、高齢者に交流の場を提供した。
目的	地域の高齢者のニーズ把握や情報収集を行うとともに、交流を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズを直接把握でき、スムーズに次の事業展開につなげることができる。</li> <li>・ 見守り対象の高齢者がサロンに参加することで、安否確認にもつながっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自治会の高齢者クラブで案内を行った。</li> <li>・ 立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めている。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足を運ぶことができない方への対応</li> <li>・ 優先事業と実施日等が重複した場合の場所の確保</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>平成22年度のニーズ把握から生まれた事業であり、随時必要な見直しや改善を加えた事業となっている。また、各種団体がしっかりと連携しているため、人材などにも恵まれている。</p> <p>今後も、引き続き地域住民の声に耳を傾けながら、取り組んでいただきたい。</p>

### ◆子どもまつり事業

概要	地域の各種団体が連携し、地域内2校の小学生の体験交流を行った。
目的	子どもたちの健全育成を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生で参加した子どもたちが、中学生になってボランティアでかかわっている。</li> <li>・ 地域内の小学校の交流とともに、中学校との交流もできていた。</li> <li>・ 地域で子どもを育てるという意識の向上につながっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちがさまざまな体験を自分で選択できるようメニュー方式にしている。</li> <li>・ 各種団体が各コーナーの責任を持ち、それぞれ趣向を凝らして取り組んでいる。</li> </ul>
今後の課題	ボランティアの負担の軽減
評価委員会からの提言	<p>青少年育成に係わる各種団体がそれぞれ事業を展開するのではなく、一つにまとまることで、子どもたちも参加しやすくなっている。また、各種団体が役割を持って事業に取り組んでいるほか、学校や保護者の協力も得られており、地域全体での取り組みがされていることが分かる。今後も引き続き、子どもたちの思い出づくりのため、工夫を凝らした事業に取り組んでいただきたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	8,985人
世帯数	3,353世帯
小中学校（公立）	生目台東小学校、生目台西小学校、生目台中学校
事務所	生目台地域事務所（生目台東4丁目6番地2）

## ○小松台地域自治区（小松台地域まちづくり委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

「みんなが住んでよかった、そして住み続けたいまち・支え合い・笑顔ひろがる・小松台」

### ① 総合評価

自治会、地区社協、子ども会など、地域の各種団体と連携・協力をしながら、さまざまな事業が展開されている。また、地域自治区に小学校が1校のみであるため、学校と連携しやすい環境となっている。

特に「『ふれあいin小松台』共催事業」は、地域と学校や子どもたち双方にメリットのある内容となっており、地域と学校の連携事業の好例である。さまざまな課題や苦勞を乗り越えて、思いを形にしたその過程・事業方法等をまとめていただき、他地域への情報提供をお願いしたい。

なお、事業内容によっては、受益者負担の検討などもされたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,273,000円	（参照）交付内示額 2,273,000円	
22年度からの繰越金		497,934円		
受益者負担金ほか		128,058円		
合計		2,898,992円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	小松台地域防災訓練事業	235,732円	適切	
防	明るいまちづくり事業	410,182円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
福	ふれあいサロンの充実事業	347,655円	適切	
福	三世代交流事業	75,846円	適切	
福	福祉活動研修事業	44,800円	適切	
福	子育てサロン育成事業	102,460円	適切	
環	美しいまちづくり事業	82,080円	適切	
環	食育農業体験事業	61,441円	適切	
環	ダンボールコンポスト事業	101,115円	適切	
教	「ふれあいin小松台」共催事業	238,449円	適切	受益者負担金の検討
教	文化的なまちづくり視察交流事業	144,521円	適切	受益者負担金の検討
他	まちづくり充実事業	379,190円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	まちづくり研修事業	79,565円	適切	受益者負担金の検討
他	親子で歩こう健康づくり事業	58,725円	適切	受益者負担金の検討
合計		2,361,761円	—	
24年度への繰越金		537,231円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆食育農業体験事業

概要	じゃがいもやさつまいも、落花生の苗植えおよび収穫を行い、収穫祭を実施した。
目的	子どもから大人まで一緒になってさまざまな体験をし、収穫の喜びを実感し合う場をつくる。
効果	親子の参加者が多く、住民同士のつながりができた。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>単発の行事でなく、年間を通しての継続した事業となっている。</li> <li>苗植えの際、別の作物の収穫を併せて行うなど、参加者の確保につなげている。</li> </ul>
今後の課題	子ども会や学校などと連携し、より多くの人に参加してもらおう。 (平成23年度参加者79人(収穫祭))
評価委員会からの提言	畑の土にふれることの少ない地域ならではの事業であり、食育体験と同時に、三世代交流の場としても意味のある事業である。また、異年齢の子どもたちのふれあいの場にもなっている。 今年度は中学生がボランティアとして参加している。継続事業であるので、本体験をした子どもたちが中学生になってボランティアとして戻ってくる仕組みができることも期待している。

### ◆「ふれあいin小松台」共催事業

概要	地域の <sup>わざひと</sup> 技人（趣味や特技などを生かした技術の伝承者）を募集し、小学校行事「ふれあいin小松台」において、講座の企画・運営を行った。
目的	子どもたちと地域住民の交流の機会を提供する。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段小学校とかかわりの少ない地域住民が、地域の中心となる小学校に足を運ぶ。</li> <li>交流がきっかけとなり、日常生活の声かけにもつながっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主な講師となり、31講座を実施した。</li> <li>体験講座を学年や体験時間（ロングとショート）で分けたり、児童自身が講座を選べるようにした。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材を発掘する。</li> <li>講座のマナー化を防ぐために見直しを行う。</li> </ul>
評価委員会からの提言	2年目となった今回はスムーズに運営できているが、初年度は技人の確保や地域まちづくり委員会としての行事へのかかわり方に苦労されたようである。 学校や各種団体との連携がうまくできており、今後も工夫を加えながら事業を展開していただきたい。 また、卒業生（中学生など）もボランティアなどで参加できるとよい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	7,078人
世帯数	2,879世帯
小中学校（公立）	小松台小学校
事務所	小松台地域事務所（小松台西1丁目10番地7）

## ○赤江地域自治区（赤江地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

安全・安心で明るく住みよいまちづくりのために、住民アンケート結果内容を反映した事業計画を立て、住民のための事業を実践していく。

### ① 総合評価

広い面積と多くの人口を抱える地域であり、事業展開が難しいものもあると思われる。しかし、地域の広さをメリットとして、赤江だからこそできる事業を工夫し、実施されている。

特に、子育て支援事業では、子育てフェスタにおいて、子育てにかかわる多くの各種団体が一堂に会する場となっており、地域まちづくり推進委員会や各種団体、NPOなどとの連携がとられている。また、若い年齢層のスタッフも自主的に参画している。

コミュニティづくりや子育て支援は顔の見える範囲で、環境や文化、歴史に関することは広域でと、それぞれの特性に合わせた規模での取り組みに期待したい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		10,979,114円	（参照）交付内示額 11,178,372円	
22年度からの繰越金		1,990,886円		
受益者負担金		40,800円		
合計		13,010,800円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域防災訓練推進事業	179,874円	適切	
防	自主防災組織運営訓練事業	154,825円	適切	
防	災害時等対応積立金事業	1,000,000円	適切	
防	子ども見守り推進事業	54,780円	適切	
防	防犯パトロール車の活用事業	122,920円	適切	
防	災害救助資機材等設置事業	3,000,000円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
福	子育て支援事業	709,865円	適切	
福	健康講座とふれあい会食会事業	94,715円	適切	
福	ふれあい思い出づくり（三世代交流）事業	165,438円	適切	
福	健康と介護についての集い事業	170,501円	適切	
福	はつらつスポーツ交流事業	290,189円	適切	
環	家庭で取り組む環境事業	84,280円	適切	
環	環境マップづくり事業	175,080円	適切	
環	ホテルを飛ばそう事業	113,010円	適切	
環	赤江環境フェスタ事業	201,107円	適切	
他	広報誌「人・夢・あかえ」の発行事業	713,580円	適切	
他	赤江地域まちづくり推進委員募集事業	63,835円	適切	
他	地域掲示板設置事業	2,188,178円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	赤江再発見事業	60,072円	適切	
他	八重川に親しむ事業	100,248円	適切	
他	まちづくり活動支援事業	577,980円	適切	
他	赤江地区アンケート集計・分析事業	647,527円	適切	
合計		10,868,004円	—	
24年度への繰越金		2,142,796円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆子育て支援事業

概要	子育てサロンや思春期移動相談、子守りボランティアを行った。また、子育てフェスタを開催した。
目的	地域での子育て支援を乳幼児から思春期まで一貫して行い、地域での子育てを目指す。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員と自治会が中心となって子育てサロンを自主運営する地域も出てきた。</li> <li>・スタッフとなって協力する参加者も出てきた。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での一貫した子育て支援であり、細かく分けて支援メニューを設定している。</li> <li>・子育てフェスタにより、各種団体が連携するきっかけとなっている。</li> </ul>
今後の課題	スタッフや事務局等の負担が大きくなるよう工夫が必要である。
評価委員会からの提言	<p>子どもの成長ステージで途切れることなく、一貫した子育て支援ができている好例である。また、看護大学の支援などもあり、より細かな子育て支援に取り組まれている。多くの活動団体があり、まとまりの難しい地域であるが、子育てフェスタの開催により、団体間の連携にもつながっている。</p> <p>今後も引き続き、各種団体と連携し、課題解決を図るとともに、この先進的な活動を他の地域にも発信していただきたい。</p>

### ◆環境マップづくり事業

概要	地域の環境に関する情報や写真などをまとめ、下敷きを作成・配布した。
目的	地域の自然環境の魅力を紹介することで、より多くの地域住民に知ってもらい、環境保全に取り組む。
効果	住民意識の高揚や河川浄化につながっている。
工夫した点	マップにより、小学生でも分かりやすくなっている。
今後の課題	情報を精査しながら、的を絞って取り組む。
評価委員会からの提言	<p>河川浄化運動や調査から発展したもので、年々工夫をされながら実施されている。広い地域であるからこそ、いろいろな生き物や植物が生息し実施できた事業であり、さまざまな展開が期待される事業である。</p> <p>地域まちづくり推進委員会が小学校と連携し、授業の一環として児童が情報収集や作成を行う方法なども期待される。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	56,985人
世帯数	25,889世帯
小中学校（公立）	恒久小学校、赤江小学校、宮崎南小学校、国富小学校、本郷小学校、赤江中学校、本郷中学校、赤江東中学校
事務所	赤江地域センター（大字田吉5730番地3）

## ○木花地域自治区（木花地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

笑顔で参加、築こう安心・安全、自然豊かな住みよい木花の里

### ① 総合評価

子育て支援や高齢者と幼児のふれあい、駅環境整備、伝統文化再生など、地域住民の細かなニーズに応じた事業が展開されている。しかし、内容によっては、同じような事業が違う部会で計画されている例もあるようである。今後、地域まちづくり推進委員会や部会間で協議をしながら、部会の統廃合、新設などを含めた見直しも検討されることを期待したい。

行政との連絡・調整がスムーズにできていない事業も一部見られる。今後、行政との連携を図りながら推進していただきたい。また、未実施の事業や計画通りに進まなかったものについては、その計画性や運営などを振り返り、見直しを行っていただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	3,056,000円	（参照）交付内示額 3,056,000円	
	22年度からの繰越金	1,504,309円		
	受益者負担金ほか	210,409円		
	合計	4,770,718円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防災マップ作成事業	479,606円	適切	実行性のある計画を立てること
防	防災訓練事業	12,740円	適切	実行性のある計画を立てること
福	子育て支援事業	99,134円	適切	
福	高齢者とのふれあい事業	127,124円	適切	
環	環境マップ事業	417,673円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
環	木花地区の駅環境整備事業	27,850円	適切	
再	里山再生事業	105,000円	適切	行政との連携を図ること
再	伝統文化再生事業	0円	—	支出を伴わない活動の実施
他	ふれあいスポーツ文化の集い事業	863,420円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	青少年の健全育成並びに一般人材育成事業	568,084円	適切	実行性のある計画を立てること
他	郷土芸能（歌、民謡、踊り）、産業、文化の記念碑の調査事業	0円	—	実行性のある計画を立てること
他	まちづくり総合事業	881,805円	要改善	報償費にかかる協議の徹底
他	公共交通機関過疎地域対策事業	177,928円	適切	
	合計	3,760,364円	—	
	24年度への繰越金	1,010,354円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆防災マップ作成事業

概要	標柱の作成・設置を行った。
目的	地域住民の防災に対する意識向上を図る。
効果	地域住民の防災や津波に対する意識が高まっている。
工夫した点	消防団や自治会などと連携して取り組んだ。
今後の課題	・防災マップを作成する。 ・各種団体や地域内の防災士との連携を図る。
評価委員会からの提言	住民ニーズの非常に高い事業である。東日本大震災以前からマップ作りなどに取り組まれているが、情報は随時更新されている。最新の情報をいち早く地域住民に周知するよう取り組まれない。 また、災害時に地域内でもスムーズに連携が図られるよう、日頃から意識してさまざまな事業に取り組むことが期待される。

### ◆ふれあいスポーツ文化の集い事業

概要	幼児から高齢者までが参加できるスポーツ・文化の祭典を実施した。
目的	地域住民のふれあい・絆を深める。
効果	大会当日までの各地域での会合や練習などを通じ、地域内の住民同士の交流が深まった。
工夫した点	中学生や大学生などの協力が得られた。
今後の課題	誰でも参加できる競技などの工夫が必要である。
評価委員会からの提言	単に当日の参加だけでなく、本番までの企画・準備過程に多くの人がかかわっており、みんなで作り上げられている事業である。多くの住民参加を得られているが、今後も、自治会未加入者の参加を促すため、広報などの工夫もされたい。 また、常にプログラムや運営体制の見直しを行いながら、実施をしていただきたい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	12,103人
世帯数	5,624世帯
小中学校（公立）	木花小学校、鏡洲小学校、学園木花台小学校、木花中学校
事務所	木花地域センター（大字熊野591番地）

## ○青島地域自治区（青島地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

子どもから高齢者まで、安心して暮らせる住みよいまちづくり

### ① 総合評価

地域自治区の中でも特性の違う地域が混在している中、各地域が連携して事業を展開している。人材の面でも互いに交流を図り、地域を盛り上げている。

市内で最も高齢化率の高い同地域は、人口流出などの課題にも直面している。しかし、マリンスポーツや景観、豊富な海の幸など多くの魅力があり、潜在ニーズは十分にある地域である。

今後、自然や景観、サーフィンなど、青島ならではの魅力を生かして、青島へ人を呼び込む取り組みにも挑戦していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	1,999,808円	（参照）交付内示額 1,999,808円	
	22年度からの繰越金	340,674円		
	自己資金ほか	1,670円		
	合計	2,342,152円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域防犯活動推進事業	155,716円	適切	
防	地域防災活動推進事業	181,959円	適切	
防	災害時対応積立金事業	100,000円	適切	
福	三世代交流事業	127,133円	適切	
福	児童等の健全育成事業	27,333円	適切	
再	城山公園を元気にする事業	66,455円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
再	堀切峠周辺の景観整備事業	94,639円	適切	
再	お大師山の整備事業	49,533円	適切	
健	ウォーキング大会事業	171,995円	適切	
健	マリンスポーツ体験事業	97,275円	適切	
教	子どもサミット事業	0円	—	実行性のある計画を立てること
	合計	1,072,038円	—	
	24年度への繰越金	1,270,114円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆地域防災活動推進事業

概要	津波防災訓練を実施した。また、海拔標柱の設置・維持管理および防災設備の設置・整備を行った。
目的	津波等災害発生時における地域住民の避難誘導や救助活動等を円滑に行うために、日頃から防災対策に努める。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数が増えている。</li> <li>訓練への参加により、心配が払拭されたという参加者の声もあった。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災連合体と消防団が連携して実施した。</li> <li>図上訓練と津波防災訓練を実施した。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害弱者対策が急務である。</li> <li>夜間訓練実施の要望がある。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>防災意識の高い地域であり、津波対策という具体的な課題に対し、標柱設置や訓練実施など、解決に向けてしっかりと取り組まれている。また、東日本大震災を機に、防災訓練への参加者も増えている。</p> <p>課題としている災害弱者対策には、個人情報の取り扱いなど難しい問題もあるが、自治会など各種団体と連携して取り組んでいただきたい。</p>

### ◆三世代交流事業

概要	農業体験事業や昔の遊びなどを通して、三世代交流を行った。
目的	青島・内海合同の三世代交流を通じ、地域の伝統活動などの継承を図る。
効果	青島と内海の地域住民が交流する場を設けることができた。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキング大会事業と協働で実施した。</li> <li>他部会と連携して実施した。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者を増やす。</li> <li>事業内容の充実を図る。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>青島・内海という地域性と規模ならではの事業となっており、学校や子どもたちに対する地域住民からの支援につながっている。また、「地域で子どもを育てる」という意識が強い地域である。</p> <p>ウォーキング大会は青島の景観を生かしたものとなっており、青島の魅力に気付かされる事業となっている。ぜひ、地域内外へ事業をPRしていただき、多くの人を青島へ呼び込んでいただきたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	3,896人
世帯数	1,997世帯
小中学校（公立）	青島小学校、内海小学校、青島中学校
事務所	青島地域センター（青島4丁目6番16号）

## ○住吉地域自治区（住吉地域まちづくり推進委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

「ずっと ずっと住み続けたいまち 住吉」を基本とした、安心して暮らせるまちづくり

### ① 総合評価

各種団体との連携やボランティアの活用など、地域とのつながりを大切にしながら事業を展開されている。多くの学校施設を抱える利点を生かした事業にも特徴がある。

子育て支援については、住吉の特徴を生かしながら展開されている。今後、市内の他地域の取り組みも参考にしながら展開されることを期待したい。広報面では、広報誌「住吉まちづくりだより」を年4回発行するほか、随時ホームページを更新し、情報を発信されている。また、フェイスブックなどの新しい広報にも挑戦されようとしている。

今後も、各事業において内容の見直しなどを行うとともに、青壮年層などの人材確保に努めていただき、事業を実施していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,632,461円	（参照）交付内示額 5,283,229円	
22年度からの繰越金		922,934円		
自己資金		605円		
合計		3,556,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域防災訓練事業	27,375円	適切	
防	地域安全見守り隊事業	74,782円	適切	
福	子育て支援事業	218,021円	適切	
福	地域の結びつき啓発事業	58,197円	適切	
環	里山保全事業	1,058,441円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
環	ホテルの里整備事業	50,402円	適切	
再	住吉地区男女共同参画事業	17,847円	適切	
再	住吉夏まつり事業	286,470円	適切	
再	ITを活用した情報発信事業	137,550円	適切	
健	健康づくり事業	45,221円	適切	
伝	伝統芸能保存事業	396,129円	適切	
他	広報誌発行事業	434,367円	適切	
他	まちづくり推進事業	173,520円	適切	
合計		2,978,322円	—	
24年度への繰越金		577,678円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆子育て支援事業

概要	子育て相談や講話、各種コーナーを設けた「すみよし子育てフェスタ2011」を実施した。
目的	地域住民とのふれあいの中で、安心子育ての環境づくりを図り、幅広い世代の交流を通じて、地域の子どもたちを育む。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士の交流につながった。</li> <li>・ボランティアで参加している学生の、地域や子育てに対する意識の変化があった。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に参加しやすい日時を設定した。</li> <li>・中学生や高校生もボランティアで参加し、活動の様子が各学校へ報告されている。</li> </ul>
今後の課題	自治会未加入者への周知
評価委員会からの提言	年々、事業の内容や運営方法を工夫しながら実施されている。今年度は多くの中学生・高校生がボランティアとして参加することで、彼らの親準備教育にもつながっていたようである。今後、子育て支援事業を計画される際にはぜひ、年間を通じて継続して行われる事業内容にも期待したい。また、新しい広報方法であるSNS（ソーシャルネットワークサービス）についても検討されているようであるので、ぜひ挑戦していただき、その効果について分析していただきたい。

### ◆伝統芸能保存事業

概要	地域に伝承される神楽の実演会として「住吉神楽の集い」を開催した。
目的	郷土芸能の育成・保全を図るとともに、世代を超えた交流の場をつくる。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の4つの神楽が一堂に会することで、互いに刺激・励みとなった。</li> <li>・後継者の育成につながっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に参加しやすいよう日時の設定を行った。</li> <li>・4つの保存会との連携により、準備や舞台設営などを効率的に実施できた。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に見てもらい、知ってもらう。</li> <li>・いまだ埋没する伝統芸能を復活させる。</li> </ul>
評価委員会からの提言	伝統芸能を掘り起こし、後継者を育てることは大変苦勞が多いと思われる。しかし、多くの人に実際に見てもらうことにより、地域のさまざまな文化などを知ってもらうきっかけづくりとも考えられる。今後は、より多くの地域内外の方に見ていただけるよう積極的な広報活動にも取り組んでいただきたい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	21,583人
世帯数	9,216世帯
小中学校（公立）	住吉小学校、住吉南小学校、住吉中学校
事務所	住吉地域センター（大字島之内7409番地1）

## ○生目地域自治区（生目地区振興会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

「地域住民が安心して暮らせる・・・伸びゆくまちづくり・・・」

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1) 伝統ある歴史文化の保存・継承 | 2) 良好な生活、自然環境の保全 |
| 3) 産業・経済の発展       | 4) 生活福祉の向上       |

### ① 総合評価

防犯・防災、福祉はもちろん、農産物や自然、伝統芸能などを活用した事業など、幅広い分野で事業を展開されている。

活動の幅が広く、スタッフなどの労力も大変なものであると思われる。各種団体や学校などとの連携のほか、より多くの地域住民の参画を得ながら、事業を実施していただきたい。

今後も、地域住民のニーズ把握に努めるとともに、継続事業の見直しなども検討しながらまちづくり活動に取り組んでいただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	2,971,000円	（参照）交付内示額 2,971,000円	
	22年度からの繰越金	631,538円		
	自己資金	616円		
	合計	3,603,154円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	地域防災事業	109,260円	適切	
防	生目っ子見守り事業	49,140円	適切	
防	防犯パトロール事業	134,563円	適切	
防	災害時対応積立事業	200,000円	適切	
福	生目地区ふれあい交流会事業	316,000円	適切	
福	移送サービス等調査研究事業	10,000円	適切	
福	バス利用促進事業	3,540円	適切	
環	地産地消事業	60,000円	適切	
環	里山保全事業	160,144円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
環	生目地区のホタル保護事業	9,530円	適切	
環	文化財掘起し事業	69,930円	適切	
環	野猿被害による地域住民への意識高揚事業	36,000円	適切	
環	生目ブルーベリー女性部事業	50,000円	適切	
環	生目散策事業	103,805円	適切	
再	ふるさと祭り設営広報事業	234,958円	適切	
再	半ぴどん顕彰事業	40,522円	適切	
再	半ぴどんイメージキャラクター募集事業	0円	—	実行性のある計画を立てること
再	生目芸能フェスティバル事業	525,032円	適切	
再	生目の杜遊古館体験学習事業	8,025円	適切	
再	生目音頭保存事業	107,600円	適切	
健	スポレク事業	82,920円	適切	
伝	神楽写真展事業	16,727円	適切	
他	生目地区振興会広報事業	501,100円	適切	
他	新燃岳ボランティア事業	0円	—	新燃岳噴火活動休止のため
	合計	2,828,796円	—	
	24年度への繰越金	774,358円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆地域防災事業

概要	地震を想定した図上訓練および応急救護などの事前研修、各自治会での総合防災訓練を実施した。
目的	地域住民の防災に対する意識を高め、安全安心なまちづくりを行う。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の訓練により、地域住民の意識高揚につながっている。</li> <li>・自治会・班単位で行うことで、実効性のある取り組みになっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図上訓練、事前研修、総合防災訓練と、積み上げた訓練を行った。</li> <li>・各自治会やSVC、消防団や消防署などと連携を図った。</li> <li>・自治会（自主防災隊）単位の実情に合った訓練とした。</li> </ul>
今後の課題	できるだけ多くの地域住民に参加してもらう。
評価委員会からの提言	<p>年間を通して、また経年的に緻密に事業計画が立てられ、実施されている。また、他の地域の防災訓練を参考にして事業に取り入れる工夫もされている。</p> <p>防災に対する取り組みは継続が重要である。今後も、9月第1日曜日「生目地区の防災の日」を徹底し、より多くの参加者に向けて訓練を実施していただきたい。</p>

### ◆生目っ子見守り事業

概要	小学校の登下校時の見守りを行った。
目的	子どもたちにとって安全安心な住みよいまちづくりを行う。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの見守りはもちろん、隊員も子どもたちから見守られている。</li> <li>・組織づくりにより、地域の見守りに対する意識のばらつきが解消されつつある。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生目地区振興会（地域まちづくり推進委員会）と自治会連合会、さんさんクラブ、ボランティアが連携し、組織づくりが進んでいる。</li> <li>・青色パトロールとの連携もできている。</li> </ul>
今後の課題	全地域の自治会単位で組織整備を図る。
評価委員会からの提言	<p>地区振興会の事業としたことで、不審者情報などのさまざまな情報収集や伝達が組織整備によりスムーズにできているようである。</p> <p>今後、地域内の全単位自治会で組織化され、地域全体で安全安心なまちづくり活動に取り組まれることを期待したい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	11,731人
世帯数	5,135世帯
小中学校（公立）	生目小学校、生目中学校、生目南中学校
事務所	生目地域センター（大字浮田3153番地1）

## ○北地域自治区（北地区振興会（まちづくり推進委員会））

### まちづくりの活動方針（テーマ）

明るくすみよいまちづくり

### ① 総合評価

地域内の史跡や文化財などが多く、地域資源に恵まれている。一方で、農業の衰退や後継者問題などの課題もあるが、地産地消に関する事業に取り組まれるなど、積極的に地域課題に向き合った事業も実施されている。

どのような事業であっても、常に事業の精査を行い、目標設定をしっかりとされる必要がある。また、他地域のさまざまな事業を見たり、情報を集めたりすることも、今後の事業展開に必要なことだと考える。

地域の人材実情を踏まえながら、少しずつ、知恵と工夫でよりよい事業につなげていただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	2,275,195円	（参照）交付内示額 2,579,720円	
	22年度からの繰越金	234,606円		
	自己資金	18,355円		
	合計	2,528,156円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	子ども見守り事業	125,719円	適切	
防	防災訓練事業	143,821円	適切	
福	高齢者ふれあい交流会事業	142,438円	適切	
福	福祉推進研修事業	213,910円	適切	
福	子育て支援事業	52,219円	適切	
再	イルミネーション設置事業	179,121円	適切	
再	ふれあい朝市事業	206,864円	適切	
再	まちづくり推進研修事業	117,180円	適切	
教	北地区歴史文化伝承事業	126,250円	適切	
教	北地区民俗芸能伝承事業	127,335円	適切	
教	ふれあいウォーキング事業	38,609円	適切	
他	地産地消食育事業	52,160円	適切	
他	地域案内板設置事業	425,502円	適切	
他	北地区振興会（まちづくり推進委員会）運営事業	231,041円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
	合計	2,182,169円	—	
	24年度への繰越金	345,987円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆ふれあい朝市事業

概要	地域の農作物や加工品などを販売する朝市を開催した。
目的	地元農産物への理解と関心を高め、地域の活性化を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消につながっている。</li> <li>・朝市を通して、つながりが深まってきている。</li> </ul>
工夫した点	地域住民による出店が主であるため、地域性のある朝市となった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人々が来場できる開催日時を設定する。</li> <li>・出店者を確保する。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>地域の活性化を目的とした事業であり、しっかりと現状分析と課題整理を行い、事業を展開する必要がある。また、各種団体と連携して実施することで、スタッフなどの負担も軽くなると思われる。</p> <p>参加者を増やすために、例えば別日時で実施している地産地消食育事業を併せて実施するなど、工夫の余地はあると思われる。</p>

### ◆北地区歴史文化伝承事業

概要	地区の小・中学生などを対象に、地域内の史跡・文化財の現地視察研修を行った。
目的	地域の史跡・文化財等を訪ね、ふるさとの良さに気づき、郷土愛を育む。
効果	小・中学生や教師、地域住民に自分たちの住む地域について知ってもらうことができた。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や自治会などと連携を図っている。</li> <li>・寺の住職やガイドにより分かりやすい説明がされている。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事との調整が必要である。</li> <li>・保護者の参加も図りたい。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>地域資源を上手く活用した事業となっている。また、ルートを工夫したり、参加しやすい行程にしたりするなど、年々工夫をされて継続されている。</p> <p>今後はこの取り組みを多くの人に知ってもらうために、近隣小・中学校と連携し、地域外の児童も対象としたり、マップ（史跡・文化財めぐり）の活用方法を検討するなどさまざまな試行をしていただきたい。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	6,947人
世帯数	2,924世帯
小中学校（公立）	瓜生野小学校、倉岡小学校、宮崎北中学校
事務所	北地域センター（大字瓜生野3909番地40）

## ○佐土原地域自治区（小学校区ごとの5つの地域づくり協議会）

### 1 佐土原小学校区地域づくり協議会

#### まちづくりの活動方針（テーマ）

歴史と文化を愛し 共に支えあう 元気なまち「さどわら」

～自主・自立（自律）、協働のまちづくり～

#### ① 総合評価

地域課題をしっかりととらえ、経年的に事業を計画・実施されている。また、限られた財源の中で、常に優先事項などを考慮し、事業を計画されている。中には、行政の出前講座を利用したり、人材と知恵を活用して実施したりしている事業もあるようである。

今後も、事業内容や効果、地域住民のニーズなどを精査しながら実施していただきたい。また、人材確保についても引き続き取り組んでいただきたい。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		1,179,000円	（参照）交付内示額 1,179,000円	
22年度からの繰越金		253,767円		
受益者負担金ほか		302,931円		
合計		1,735,698円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	子ども見守り隊事業	16,675円	適切	
防	自主防災訓練事業	47,653円	適切	
防	災害時対応積立事業	100,000円	適切	
福	高齢者世帯への奉仕事業	20,000円	適切	
福	福祉施設訪問事業	18,510円	適切	
福	子育て支援事業	112,984円	適切	
環	里山保全事業	86,127円	適切	
環	花のまちづくり事業	10,080円	適切	
再	地区交流センター・（仮称）城の駅施設整備事業	161,167円	適切	
再	地域のリーダー育成事業	9,000円	適切	
健	健康づくり事業	125,481円	適切	
伝	伝統文化伝承事業	178,546円	適切	
教	学校との連携に関する事業	122,562円	適切	
他	広報事業	161,283円	適切	
他	佐土原のまつり活性化事業	118,440円	適切	
合計		1,288,508円	—	
24年度への繰越金		447,190円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆自主防災訓練事業

概要	自主防災リーダー研修を実施した。
目的	地域のリーダーが率先して自己の防災力を高めることにより、自治会・自主防災組織単位の防災力の向上を図る。
効果	自主防災隊の意識向上につながった。
工夫した点	地域の現状と課題について学ぶ機会を設けた。
今後の課題	地域住民に対するの広報
評価委員会からの提言	自主防災隊の結成からリーダー研修と、経年的な計画性のある事業を組み立てられている。しっかりと年度の目標を持ち、次年度は自主防災組織単位での防災訓練を予定されているようである。 地域づくり協議会が中心となって災害時に備えた体制づくりが行われており、他地域の参考にもなる事例である。今後も引き続き、防災力向上のため継続していただきたい。

### ◆子育て支援事業

概要	育児中の母親を対象とした交流の場を、年間を通して開設した。
目的	子育ての喜びや悩みなどを共有し、育児中の母親の支援を行う。
効果	子育て中の保護者が気軽に相談できる場ができた。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や民生委員、民生委員経験者、NPOの協力を得ている。</li> <li>・行政の出前講座や地域の方の協力を得て講座を開催している。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報のあり方</li> <li>・母親が参加したくなる企画の工夫</li> </ul>
評価委員会からの提言	子育て支援センターのない地域であり、地域のニーズに即した事業が展開されている。 転勤の多い家庭からの参加者も多いようであるが、現在地域に住む人や新しく地域に引っ越してきた人たちが地域に根付くような取り組みとして、今後もぜひ継続していただきたい。

## 2 那珂小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針（テーマ）

地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築く

#### ① 総合評価

各事業とも、さまざまな工夫を図りながら実施されている。また、交流事業などが多く見られる傾向にある。

イベント系事業は時間や費用を費やすため、スタッフなどの疲弊につながらない工夫が必要である。また、地域住民のニーズをしっかりと把握し、現在の事業内容の精査も実施していただきたい。

今後も引き続き、地域の課題解決や活性化に向けた事業を展開されることを期待する。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		961,000円	（参照）交付内示額 961,000円	
22年度からの繰越金		86,615円		
受益者負担金ほか		87,451円		
合計		1,135,066円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	見守り事業	125,422円	適切	
防	防災訓練事業	99,028円	適切	
環	石崎川ふれあい公園花いっぱい事業	59,284円	適切	
再	那珂まつり事業	566,316円	適切	
健	ミニバレーボール大会事業	38,401円	適切	
健	玉入れ競技大会事業	26,098円	適切	
伝	昔の遊び道具づくり事業	0円	—	支出を伴わない活動の実施
他	イルミネーション事業	15,377円	適切	
他	ふるさと音頭作成事業	7,226円	適切	
他	広報事業	100,855円	適切	
他	協議会運営事業	24,486円	適切	
合計		1,062,493円	—	
24年度への繰越金		72,573円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆那珂まつり事業

概要	地域住民が一体となり、ステージ発表や玉入れ大会などを実施した。
目的	地域住民の顔のみえる交流を図る。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者および参加協力団体が増えている。</li> <li>「地域のまつり」として浸透しつつある。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校PTAの協力が得られている。</li> <li>玉入れ大会を同時開催することで、多くの人に参加した。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の多くの人に参加できる日時の設定が必要である。</li> <li>会場使用料などの節約のため、公民館などで開催する。</li> </ul>
評価委員会からの提言	小学生や中学生のステージ発表など、さまざまなメニューを企画され、地域住民のふれあい交流の場となっている。また、その保護者などの参加も見られるようである。今後、地域住民の交流や親睦のためにも、常に事業内容の精査や見直しを図っていただきたい。

### ◆ミニバレーボール大会事業

概要	小学生から高齢者までが取り組める競技（ミニバレーボール）大会を開催した。
目的	地域住民の親睦を深める。
効果	小学生の参加により、親子での交流も図られた。
工夫した点	ルールを工夫し、性別や年代に関係なく参加できるようにした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の各種事業との日時の重複を避ける。</li> <li>自治会の参加率を高める。</li> </ul>
評価委員会からの提言	地域づくり協議会の一部会に自治会や各種団体代表に入ってもらい、各種団体と連携を図られている。しかし、自治会参加率は60%ということで、今後、自治会はもちろん、自治会未加入者への呼びかけも引き続き実施していただきたい。

### 3 広瀬小学校区地域づくり協議会

#### まちづくりの活動方針（テーマ）

「住民参画のまちづくり」をとおして、

少子高齢化、核家族の地域社会から、地域生活共同社会を再構築する。

～～声かけて みんなでつくろう 安全と安心のまち～～

#### ① 総合評価

地域の財産である“石崎川・石崎浜”を活用した事業や、地域の宝である子どもたちを巻き込んだ事業など、工夫を凝らしながら事業を展開されている。

また、自治会長が所属する「自治会部会」を設置することで、自治会との連携がうまく進んでいる事業や、学校関係者が部会に所属することで、小・中学校との連携を図るなど、体制づくりにも工夫をされている。地域づくりにかかわる人材育成はもちろん、今後も引き続き、広報誌やホームページの活用のほか、保護者世代や高齢者などが参加しやすい取り組みを期待したい。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		1,662,000円	（参照）交付内示額 1,662,000円	
22年度からの繰越金		23,056円		
受益者負担金ほか		13,350円		
合計		1,698,406円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防・環	安全安心で環境にやさしいまちづくり推進事業	148,555円	適切	
福	健康・福祉のまちづくり推進事業	211,201円	適切	
再	まちづくり基盤整備事業	319,685円	適切	
再	ウイラブ石崎川プレイパーク推進事業	305,185円	適切	
教	地域教育（地域・学校連携）推進事業	273,909円	適切	
教	ふるさと歴史・文化芸能推進事業	346,979円	適切	
合計		1,605,514円	—	
24年度への繰越金		92,892円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆ウイラブ石崎川プレイパーク推進事業

概要	石崎川周辺や石崎浜海浜の清掃（ビーチクリーン）のほか、子ガメ離浜観察会を実施した。また、「元気げんき祭り」を開催した。
目的	地域の利点を生かし、自主自立（自律）を目指す地域生活共同体を再構築する。
効果	地域住民との活動を通し、中学生の意識が変わった。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石崎川を活用した事業として、多方向から取り組みを展開している。</li> <li>・小・中学校や自治会と連携している。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者なども取り込んだ事業を実施する。</li> <li>・夜間事業実施の際の対応などについて検討が必要である。</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>「川面にカヌーを浮かべるまち」にしたいという目標に向かって、川の水質改善や浜の美化活動を一步ずつ実施されている。また、細部まで内容を詰めて実施されており、しっかりと事業計画が立てられている。</p> <p>今後は、参加者数が増える工夫を凝らしながら、継続していただきたい。</p>

### ◆地域教育（地域・学校連携）推進事業（広瀬中学校生徒社会貢献活動「地域お助け隊」支援）

概要	通学路や石崎浜海浜、石崎川河口周辺、堤防両岸などの小・中学校による清掃活動の支援を行った。
目的	小・中学生の地域貢献活動を支援することで、児童生徒が地域社会にかかわるきっかけづくりに努め、郷土に対する誇りと愛着を育む。
効果	小学生のときに見守りなどでお世話になった中学生が、別の形で地域ボランティアとして還元する形ができています。
工夫した点	小学校が共催して参加した。
今後の課題	保護者や地域住民を巻き込んだ事業を実施する。
評価委員会からの提言	<p>地域の一員である中学生が地域行事などに参加し、住民と交流する本事業は大変意義のあることである。子どもたちの健全育成とともに、長期間での人材育成ともとらえることもできるだろう。今後、より多くの保護者などの参加も期待したい。</p>

## 4 広瀬北小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針（テーマ）

住民相互の協力と連帯により地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築くために地域の元気と支え合い、安全安心をテーマにまちづくりを進める。

### ① 総合評価

地域内の各種団体や高校とも連携し、事業を展開されている。特に、「事業推進連携強化事業」では14自治会との情報交換会を実施し、地域課題の共有や情報提供、地域づくり協議会の活動の説明などが行われている。このような情報交換や意見提言活動などを通じ、「地域の元気と絆を深める事業」のテント村への参加をはじめ、さまざまな事業での連携がスムーズになっていると考えられる。

今後も、地域住民のニーズ把握や事業内容の精査に努めながら、事業を展開していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	1,529,000円	（参照）交付内示額 1,529,000円	
	22年度からの繰越金	87,955円		
	受益者負担金ほか	283,333円		
	合計	1,900,288円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	安全・安心のまちづくり推進事業	18,869円	適切	
環	環境整備・活用推進事業	5,372円	適切	
再	ふるさと学習推進事業	181,669円	適切	
再	地域の元気と絆を深める事業	389,933円	適切	
再	食育事業	88,388円	適切	
健	スポーツ交流事業	224,553円	適切	
教	子育て支援事業	47,800円	適切	
他	地域紹介・広報事業	267,439円	適切	
他	事業推進連携強化事業	97,953円	適切	
	合計	1,321,976円	—	
	24年度への繰越金	578,312円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆地域の元気と絆を深める事業

概要	ステージ発表や作品展示、玉入れ大会、テント村などを設けた「ひろきた元気フェスタ」を開催した。
目的	支え合いと元気を大事にし、楽しい地域づくりへの意識を高め、絆を深める。
効果	地域住民が一堂に会する場となっている。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内全自治会がテント村に参加した。</li> <li>・サービス提供型ではなく、参加型により多くの参加者につながった。</li> </ul>
今後の課題	事業がマンネリ化しないような仕組みをつくる。
評価委員会からの提言	<p>継続事業ではあるが、より多くの人に参加してもらおうよう事業の組み立てや内容に工夫が凝らされている。また、全地区参加の「テント村」も、この地域ならではの発想であった。この参加型の仕組みは他の地域の参考となると思われる。</p> <p>次年度以降も、より発展させた事業内容を期待したい。</p>

### ◆スポーツ交流事業

概要	地区対抗で、グラウンドゴルフやふうせんバレー、駅伝大会を開催した。
目的	地域の親睦や絆を深める。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区対抗の競技としており、地域内の団結力などに結びついている。</li> <li>・自治会同士のつながりにもなっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や総合型地域スポーツクラブと連携して実施した。</li> <li>・誰でも参加できる競技を取り入れている。</li> </ul>
今後の課題	全自治会の参加につなげる。
評価委員会からの提言	<p>誰でもできる競技やルールにすることで、できるだけ多くの人を集める工夫をされている。</p> <p>スポーツイベントは多くの人を集めやすく開催しやすいため、地域イベントとして他地域でもよく見られる事業である。開催することでの効果や課題解決につながっているかを見極め、今後事業展開していただきたい。</p>

## 5 広瀬西小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針（テーマ）

住民相互の協力と連帯により、地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築く。

#### ① 総合評価

新興団地ともとの住宅地からなる地域で、まちづくりの取り組み一つにしても、さまざまな工夫をして、小学校区をまとめている。中でも、「芸能・文化まつり事業」では、地域と学校が連携し、広瀬西小学校全児童が参加しており、他事業への参加にもつながっている。

さまざまな事業に自治会などが中心となってかかわっており、各種団体や学校と連携していくことで、より充実したまちづくりが展開されている。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
	項目	金額	備考	
	地域コミュニティ活動交付金（申請額）	1,015,000円	（参照）交付内示額 1,015,000円	
	22年度からの繰越金	0円		
	自己資金ほか	129,079円		
	合計	1,144,079円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	小学生見守り事業	44,326円	適切	
防	安心安全のまちづくり事業	12,629円	適切	
防	地域防災事業	26,965円	適切	
福	災害時における安否確認訓練事業	20,516円	適切	
環	校区内の美化活動事業	33,200円	適切	
再	芸能・文化まつり事業	307,357円	適切	
伝	校区内の伝統文化に関する事業	110,208円	適切	
他	ウォーキングフェスタ事業	303,299円	適切	
他	住民に対する広報事業	164,720円	適切	
他	世代間交流事業	31,098円	適切	
他	食の安心安全に関する事業	52,672円	適切	
他	校区内のスポーツふれあい事業	36,700円	適切	
	合計	1,143,690円	—	
	24年度への繰越金	389円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆小学生見守り事業

概要	校区内の各種団体と情報の共有・協力・調整を行い、有効な見守り活動を推進した。
目的	通学時の児童の安全を確保する。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全・安心につながっている。</li> <li>・地域住民とPTAが集まる機会が増えることで、交流が深まっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者間の情報の共有化を図っている。</li> <li>・下校時間を把握するなど、学校との連携を図っている。</li> </ul>
今後の課題	他事業においても、子どもと活動者が顔をあわせる機会を増やす。
評価委員会からの提言	<p>学校との連携がとられている事業である。また、見守りのみならず、通学路や小学校遊歩道の除草、整備作業にも取り組まれ、「顔の見える範囲」でのきめ細やかな活動が展開されている。</p> <p>今後も、登録ボランティアを増やしなが、継続していただきたい。</p>

### ◆災害時における安否確認訓練事業

概要	一人暮らし世帯など、家族による安否確認ができない世帯を把握し、災害時に安否確認が速やかに行われるよう訓練を実施した。
目的	要確認者を把握し、災害時の速やかな安否確認につなげる。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した実施により、確認者および要確認者の意識が向上し、信頼関係も深まっている。</li> <li>・一人暮らし高齢者世帯の把握にもつながっている。</li> </ul>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のマップ（確認のための人によるネットワーク）である。</li> <li>・マップは常時見直しを行い、年2回訓練を実施している。</li> <li>・二人で一人の要確認者を見守っている。</li> </ul>
今後の課題	本活動をより多くの地域住民に周知し、地域内の横のつながりをつくる。
評価委員会からの提言	<p>地域で一人暮らし高齢者等をサポートしていく事業であり、小学校区単位のまちづくりが機能しているからこそ展開できる事業である。</p> <p>課題にもあるように、確認者以外の地域住民にも事業について知ってもらうことで、常時の地域全体の見守りにもつながることが期待される。また、確認後の対応についても、今後ぜひ検討していただきたい。</p>

参考：佐土原地域自治区 地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	34,211人
世帯数	14,086世帯
小中学校（公立）	佐土原小学校、那珂小学校、広瀬小学校、広瀬北小学校、広瀬西小学校、佐土原中学校、広瀬中学校、久峰中学校
事務所	佐土原総合支所（佐土原町下田島20660番地）

## ○田野地域自治区（田野まちづくり協議会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

子どもから高齢者まで安心して暮らせる住みよいまちづくり

### ① 総合評価

大根棚や雨太鼓、わにつか山など恵まれた地域資源を生かし、さまざまな事業に取り組まれており、中には、地域外からの参加者の多い事業もみられる。全事業に共通して、地域の各種団体や学校などとの連携を強化した活動が強く期待される。

市内では当地域以外にも25の地域まちづくり推進委員会による取り組みが展開されている。他地域との連携や情報交換を積極的に行うことにより、事業の参考になるものもある。ぜひ事業の幅を広げていただきたい。また、さまざまな情報発信を試行し、田野をPRしてもらいたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		3,593,220円	（参照）交付内示額 4,148,451円	
22年度からの繰越金		910,130円		
受益者負担金ほか		207,600円		
合計		4,710,950円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防犯・防災事業	80,567円	適切	
防	災害時積立事業	200,000円	適切	
福	救命処置講習事業	22,454円	適切	
福	健康福祉ネットワーク事業	0円	適切	支出を伴わない活動の実施
福	敬老会共催事業	125,905円	適切	
福	いきいき高齢者元気まつり共催事業	54,458円	適切	
環	キャンドルタイム推進事業	42,496円	適切	
環	いこいの里山づくり事業	962,328円	適切	
再	田野名所巡りウォークラリー事業	124,871円	適切	
再	わにつか山開き準備事業	9,754円	適切	
再	わにつか山開き積立事業	150,000円	適切	
再	コンサート事業	148,028円	適切	
再	農業体験交流事業	184,132円	適切	
再	イベント共催事業	110,626円	適切	
再	ライトアップ事業	110,963円	適切	
他	広報事業	338,745円	適切	
他	まちづくり協議会運営事業	724,637円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	フォトカレンダー事業	133,925円	適切	
他	リーダー育成事業	62,440円	適切	
合計		3,586,329円	—	
24年度への繰越金		1,124,621円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆防犯・防災事業

概要	防犯パトロールや学童見守りなどの活動を行った。
目的	地域住民が安心して暮らせる安全なまちにする。また、地域住民の防犯・防災意識の高揚を図る。
効果	活動の重要性を理解し、協力者が増加している。
工夫した点	定期的にミーティングを開催し、情報共有を行っている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの参加者を得るための広報活動</li> <li>・学校との情報交換</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>地域で防犯パトロールが行われていることは、地域住民の安心に大きくつながっていると思われる。ボランティアによる地道な活動ではあるが、地域にとっては必要不可欠なものとなっている。</p> <p>現在、朝実施している青色パトロールをぜひ、午後も展開されることを期待する。また、学童見守りについては学校やPTAとの連携をより図っていきながら、活動を充実していただきたい。</p>

### ◆農業体験交流事業

概要	大根やサツマイモの農業体験を行った。
目的	田野を知ってもらい、他の地域との交流を深め、活性化を図る。
効果	参加者の半数以上は地域外からであり、田野の魅力を知っていただいている。
工夫した点	田野にある素材を生かすことができた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等を活用した情報発信</li> <li>・参加者数を増やす</li> </ul>
評価委員会からの提言	<p>PRの仕方について試行錯誤されているが、マスコミなどの協力を得るなど、いろいろな方法を試しながら、ぜひ地域のすばらしい資源や活動等を周知していただきたい。また、他地域の事例なども参考にしながらPRに努めてもらいたい。</p> <p>今後、特産品開発などにも取り組まれるようであり、さまざまな取り組みが期待される。</p>

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	11,358人
世帯数	4,781世帯
小中学校（公立）	田野小学校、七野小学校、田野中学校
事務所	田野総合支所（田野町甲2818番地）

## ○高岡地域自治区（高岡まちづくり委員会）

### まちづくりの活動方針（テーマ）

- ①ともに支え合い元気で、安全で、安心して暮らせるまち
- ②郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち

### ① 総合評価

面積が広く、各地域が地理的にも離れているものの、高岡地域自治区内の各地域単位で活性化に取り組んでいる事業が見られる。人口減少や少子高齢化が進む中、高い自治会加入率や歴史・自然といった地域資源をうまく活用した事業が展開されている。

また、地域活動の中心に子どもや学校を置いた事業では、地域住民と学校、保護者が地域を盛り上げている。

すばらしい地域資源を生かしつつ、今後、まずはより多くの地域住民の参加を積極的に促しながら事業へ取り組むとともに、地域内外へ情報を発信していただきたい。

### ② 事業別評価

#### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,848,298円	（参照）交付内示額 4,244,403円	
22年度からの繰越金		1,074,280円		
受益者負担金ほか		20,422円		
合計		3,943,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
福	生きがい創設事業	40,740円	適切	
福	認知症サポーター養成講座事業	36,270円	適切	
環	環境浄化推進事業	323,205円	適切	工事請負にかかる協議の徹底
再	穆佐地区交流ふれあい事業	79,400円	適切	
再	浦之名歩こう会交流事業	123,150円	適切	
再	去川大いちょうフェスティバル（大いちょうまつり）事業	5,000円	適切	イチョウの病気のため中止
再	130年の世代を越えた穆佐小学校感謝の集い事業	240,360円	適切	
再	月知梅うめまつり神話創作事業	331,089円	適切	
再	穆園ファミリーコンサート事業	186,500円	適切	
再	後世に残す伝統行事復活事業	8,715円	適切	
健	健康づくりスポーツ交流事業	279,108円	適切	
伝	高岡街並みの文化・歴史の講演会事業	107,265円	適切	
教	夏休み大淀川“川ガキ”教室2011事業	32,550円	適切	台風接近のため中止
他	高岡まちづくり委員会PR事業	390,001円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
他	高岡まちづくり委員会事務局運営事業	0円	—	実施の必要がなくなったため
他	災害時等対応積立事業	500,000円	適切	
合計		2,683,353円	—	
24年度への繰越金		1,259,647円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆浦之名歩こう会交流事業

概要	浦之名地区の自然や農業、林業などの産業を歩きながら学んだほか、郷土芸能の披露を通して地域の文化や歴史を再認識した。
目的	地域住民の交流の場を設ける。
効果	保護者だけでなく多くの地域住民の参加により、地域連帯の向上や三世代交流につながっている。
工夫した点	・単位自治公民館の垣根を越えた広域連携による運営である。 ・子どもの参画を図るため、学校行事の一環として進めた。
今後の課題	少子高齢化による参加者数減少はやむを得ないが、今後も継続するために地域を巻き込んだ事業を展開していく必要がある。
評価委員会からの提言	地域と学校が連携した事業であり、学校行事の一環として事業を位置づけることで、地域・学校双方にメリットの多い事業である。また、小学校やPTA、自治公民館などの全面的な協力もあり、子どもたちと保護者、そして地域住民との交流が図られている。今後もぜひ継続していただきたい。

### ◆月知梅うめまつり神話創作事業

概要	月知梅うめまつりにおいて、創作神楽を披露し、地域おこしに取り組んだ。
目的	国の天然記念物である月知梅を活用し、地域に賑わいを取り戻す。
効果	・月知梅のPRと地域の活性化につながっている。 ・事業実施までの綿密な打合せや準備などでも地域での連帯感がさらに深まった。
工夫した点	月知梅をより多くの人に知ってもらうために創作神楽に取り組んだ。
今後の課題	さまざまな広報手段を活用したPRを図る必要がある。
評価委員会からの提言	月知梅の魅力や言い伝えを後世に残していく手段の一つとして、神楽を創作する発想が面白い。周知は地道な活動ではあるが、ぜひ継続して、すばらしい地域資源のPRを図っていただきたい。 まずは、地元・地域の中から盛り上げていく取り組みを期待したい。

参考：地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	11,722人
世帯数	5,157世帯
小中学校（公立）	高岡小学校、浦之名小学校、穆佐小学校、高岡中学校
事務所	高岡総合支所（高岡町内山2887番地）

## ○清武町合併特例区（中学校区ごとの2つの地域まちづくり協議会）

### 1 清武地域まちづくり協議会

#### まちづくりの活動方針（テーマ）

住民が主体となったまちづくりや豊かで安全安心な住みやすい個性あふれる地域づくりを行う。

#### ① 総合評価

活動初年度となる地域であったが、各種団体はもちろん、事業によっては部会の枠を越えて柔軟な対応を行うなど、工夫をされていた。また、一つ一つの事業が明確な目標を持って実施されている。今後も、地域住民のニーズを把握しながら、的確な事業を展開していただきたい。

市内には3年間の実績を持つ各地域の事業例が多くある。他地域の事業のよい点・改善点なども参考にされながら、今後も事業に取り組まれることを期待している。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,398,000円	（参照）交付内示額 2,745,000円	
22年度からの繰越金		—		
合計		2,398,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防犯パトロール強化推進事業	226,590円	適切	
防	地域防災力向上推進事業	32,883円	適切	
環	エコ講演会・リサイクル教室開催事業	125,965円	適切	
再	地域再生事業	46,043円	適切	
健	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業	305,056円	適切	
伝	「いのこもち」伝承サポート事業	144,523円	適切	
他	地域活性化ネットワーク推進事業	55,900円	適切	
他	男女共同参画啓発事業	76,137円	適切	
他	清武地域まちづくり協議会だより発行事業	244,866円	適切	
他	まちづくり協議会管理運営事業	398,724円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
合計		1,656,687円	—	
24年度への繰越金		741,313円	—	

## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆エコ講演会・リサイクル教室開催事業

概要	エコ講演会やリサイクル教室を開催した。
目的	エコ活動や省エネについて考え、意識を向上させる機会をつくり、身近なことから町域の環境づくりを推進する。
効果	学校以外でも子どもたちが環境について考える場を設けることができた。
工夫した点	学校行事と同時に実施することで、多くの参加者が得られた。
今後の課題	参加者を増やす。
評価委員会からの提言	どの地域にも共通する課題についての取り組みであったが、子どもにはソーラーカー作りという具体的な方法で、大人には講話という方法で、対象者にあった内容にされている。また、学校と連携するなどして、参加者を増やす工夫もされている。環境に関する課題解決には時間を要するが、引き続き工夫をしながら継続していただきたい。

### ◆「いのこもち」伝承サポート事業

概要	町域に埋もれた文化を調査・発掘・記録し、伝統行事継承を支援した。
目的	地域の郷土芸能文化「いのこもち」を伝承する。
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録文ではなく、写真やDVDに保存することで貴重な保存資料となった。</li> <li>・調査により、各地域の様子がよくわかった。</li> <li>・地域側も、今回の調査により意識が向上したようである。</li> </ul>
工夫した点	伝承地区18地区を対象に、写真撮影、ビデオ収録、インタビューを行い、調査記録・報告書を作成し、DVDを作成した。
今後の課題	当初の目的は達成されているため、該当なし。
評価委員会からの提言	清武の宝物である「いのこもち」の継承のため、各地域の協力を得ながら長期間にわたり調査されている。単に記録するだけでなく、本事業により改めて地域住民自身が伝統芸能の大切さなどを再認識したというのは大変大きな成果でもある。課題解決がなされた単年度事業であり、しっかりと目的と計画を持って行われた事業である。

## 2 加納地域まちづくり協議会

### まちづくりの活動方針（テーマ）

住民自らが実践し、安全・安心で住み良いまちづくり

#### ① 総合評価

清武地域まちづくり協議会と同様、活動初年度であるにもかかわらず、前向きで積極的な姿勢で事業に臨まれている。また、各事業をみても部会同士もうまく連携されているようである。

今後は、各種団体や学校などとさらなる連携を図り、地域住民のボランティアを募るなど、事業を継続しやすい工夫をされることが望まれる。

さまざまな発想やアイデアが満載で、次年度以降の事業についても期待している。

#### ② 事業別評価

##### ア 監査評価

収入の部				
項目		金額	備考	
地域コミュニティ活動交付金（申請額）		2,427,000円	（参照）交付内示額 2,745,000円	
22年度からの繰越金		—		
合計		2,427,000円		
支出の部				
分野	事業名	決算	監査評価	備考
防	防犯パトロール推進事業	24,539円	適切	
防	子ども見守り隊事業	138,600円	適切	
防	地域総合防災訓練事業	82,583円	適切	
環	環境美化活動事業	123,589円	適切	
健	食と健康の講演会開催事業	81,336円	適切	
伝	史跡めぐりウォーキング開催事業	187,506円	適切	
他	加納地域まちづくり協議会だより発行事業	360,522円	適切	
他	まちづくり協議会管理運営事業	460,592円	適切	備品購入にかかる協議の徹底
合計		1,459,267円	—	
24年度への繰越金		967,733円	—	



## イ まちづくり評価（ピックアップ事業）

### ◆防犯パトロール推進事業

概要	年2回の期間を設けて、防犯パトロールを実施した。
目的	地域住民が安心して暮らせる安全なまちづくりと防犯意識の高揚を図る。
効果	「地域の子どもは地域で守る」という防犯意識の高揚につながっている。
工夫した点	地域によっては一人暮らし高齢者宅周辺をまわった。
今後の課題	各種団体などと連携し、協力者を増やす必要がある。
評価委員会からの提言	新興住宅地や商店を抱える地域であるため、防犯パトロールには大きな意味があり、苦労も多いと思われる。初年度は実施期間が限定されていたが、今後は長期間で取り組まれることを期待する。また、パトロール参加者を増やし、部会員の負担を少なくして、事業を継続しやすい体制づくりにも努めていただきたい。

### ◆史跡めぐりウォーキング開催事業

概要	中野地区の文化財周辺を歩きながら、クイズ形式のウォークラリーを開催した。
目的	飢肥街道を歩き、文化財や記念物を直に見聞し、郷土に対する理解と交流を深める。
効果	幼児から高齢者まで、幅広い世代の参加があった。
工夫した点	・取り組みごとにニュースレターを作成し、部会員同士の情報共有を行った。 ・自治会や小・中学校、PTA、他部会との連携を図った。
今後の課題	事業運営のボランティアとして、より多くの地域住民の協力を得る必要がある。
評価委員会からの提言	初年度の事業であったが、「何のために事業に取り組むのか」との思いを語る時間を設けたり、欠席した部会員もしっかりと情報共有できるようにするなど、事業に取り組む心がけがすばらしい。また、事業をしっかりと振り返り、次年度事業へ臨まれる姿勢を今後もぜひ継続していただきたい。

参考：清武町合併特例区 地域概要（平成24年1月1日現在）

人口	28,623人
世帯数	12,367世帯
小中学校（公立）	清武小学校、大久保小学校、加納小学校、清武中学校、加納中学校
事務所	清武総合支所（清武町船引204番地）

## 4 総合評価

### (1) 全般的評価

本年度（平成23年度）は、地域コミュニティ活動交付金導入から3年目を迎え、26の地域まちづくり推進委員会において380事業が計画され、うち372事業が取り組まれた。また、清武町合併特例区においては、活動の初年度となった。

本年度の事業実施件数は昨年度と比して69事業の増加（対前年度比22.8%増）となった。事業分野別（計画ベース）では、「防犯・防災」（68件・17.9%）が最も多く、次いで「地域福祉」（63件、16.6%）、続いて「地域再生」（55件、14.5%）、「環境」（48件、12.6%）の順となっている（P60参照）。

「まちづくり推進」の観点では、事業の継続にあたって、常に地域住民のニーズ把握を行い、積極的に実施されている事業が多く見られることを高く評価する。また、部会員の事業に前向きに取り組む姿勢もすばらしい。

「監査評価」の観点では、一部において計画どおり実施されていない事業もみられたが、交付金の執行はほぼ全ての事業で適切に処理されている。しかし、多額の繰越金が発生している地域も見られた。計画段階で事業を見極め、活動にあつた必要額を申請するよう努めなければならない。また、5万円を超える備品等の購入も数多く見られた。その必要性を十分に検討し、申請の際には、市および地域協議会と十分に協議を行うよう徹底していただきたい。

昨年度、一部地域において地域コミュニティ活動交付金等の私的流用があった。今後、会計処理規程等を設け、監査体制を強化し、再発防止に向けてしっかりと対策を講じるようお願いする。

全般的には、東日本大震災などの影響もあり、防災事業に重点を置く地域が多く見られた。その一方で、災害時に備えた積立事業に関しては、現金としての積立にとどまる事例が散見されるため、非常食等の備蓄品の確保等、具体的な事業展開が必要である。また、地域と学校が双方向に連携した事業の取り組みも増えており、子どもをきっかけとした事業が数多く実施されたことは、今後、その保護者や学校などを巻き込んだまちづくりに発展させる好機とも期待される。

### (2) 共通の課題について～地域まちづくり推進委員会と各種団体の連携のあり方～

地域まちづくり推進委員会は、地域コミュニティ活動交付金を活用し、広く地域の課題解決のために事業を企画・実施する組織である。一方、地域の各種団体は、ある特定の目的や対象者等を定めて結成された組織である。現在、多くの地域で両者が連携・協力し、地域課題の解決のため、各種事業に取り組まれている。

しかし、少子高齢化等の進展により、地域の各種団体の活動が継続困難な地域も出てきている。例えば、団地などの子ども会は少子化の影響を受けやすく、単子子ども会で事業が実施できないという状況も一部見受けられる。このことは、将来どの地域にも起こりうる問題であり、子ども会に限ったことではない。また、現在実施されている地域コミュニティ活動交付金事業の一部において、これまで各種団体が実施していた事業をそのまま引き継いでいる事業も見られる。

今後、地域まちづくり推進委員会は、単にこれまで地域団体の担っていた事業や役割を引き継ぐのではなく、「地域まちづくり推進委員会が事業を実施することで、地域全体としてどのような課題の解決に結びつくのか」を十分に考慮し、取り組まれる必要がある。同じく、各種団体との共催についても同様である。

地域まちづくり推進委員会及び地域の各種団体の関係性を明確にし、効果的な連携や協力により、さらにまちづくりが発展することを期待したい。

### **(3) 今後のまちづくりについて**

共通の課題に提示した以外にも、以下の点について検討を期待する。

#### **①他地域との情報交換や連携について**

現在、各地域で課題を発見し、解決のための事業に取り組まれている。その背景や条件等に違いはあるものの、各地域の事業の中に参考とすべき点は非常に多い。例えば、小松台の「『ふれあい in 小松台』共催事業」や生目台の「子どもまつり事業」などは、学校と地域が連携した好例である。また、赤江の「子育て支援事業」は子育て支援を地域で一貫して行うなど、積極的に事業を展開されている。同じ分野でも、地域によって事業の組み立て方や体制づくり、工夫など、学ぶべき点は数多くある。

近隣の地域がどういった活動をしているのか情報交換をしたり、実際に事業を見に行ったりするなど、地域内にとどまらず、市内の他の地域と連携し、互いに学び合うことを期待する。

#### **②人材の確保について**

昼夜を問わず、部会員がボランティアで一生懸命に事業に取り組まれている。しかし、現在の限られた人材のみで事業を継続・発展させていくことは、部会員の疲弊にもつながりかねない。その解消方法の一つとして、NPOや大学など、専門知識や技術を持つ各種団体等との連携がある。事業の効率化を図るとともに、負担の軽減が期待できる。

また、子どもの参加を呼び掛けることでその保護者も参加するなど、工夫を凝らされている例もある。青壮年層など、児童・生徒の保護者を巻き込むことも今後のまちづくりの人材確保には重要なことである。特に、PTAや子ども会などを経験した女性などが地域や学校とのネットワークを生かして、部会員として活動されている例もある。女性の活動しやすい体制の構築も発展に欠かせない一つの要素である。

その他、最近では中学生ボランティアの協力を得て事業を展開されている地域も増えつつある。長期的な人材育成でもあり、中学生が地域とつながりをつくる大切な場にもなっている。

#### **③事業参加者の伸び悩みについて**

各地域ともに、事業への参加者集めに苦労している傾向にある。まずは、事業のニーズが本当にあるのかを再確認するとともに、広報方法は的確なものであるのか、内容はマンネリ化していないかなど、常に見直しの意識を持って取り組む必要がある。

#### ④その他

地域コミュニティ活動交付金を活用してのまちづくり活動も3年が経過した。これまでの事業により課題解決がどこまで進んでいるか、その達成度等を分析し、「継続すべき事業であるか、新たな事業内容へ改善を図るべきか」等を考える時期に来ている。また、交付金の趣旨（地域の課題解決のための活動費）に鑑み、適正な執行と透明性が常に確保されるとともに、効率的かつ効果的な事業が実施されることが望まれる。今後、まちづくり活動の進展に合わせて、使途のルールはもちろん、先述した繰越金や管理金の取り扱い等についても適宜見直しを行うべきと考える。一方で、まちづくりの単位としての地域自治体の規模についても、これまでの事業の諸課題を踏まえ、総合的に検討していく必要がある。

市内には26の地域があり、それぞれ特色を持った活動が展開されている。26パターンのまちづくりから学べることは数多くある。各地域が互いに評価し、ともに成長することが望まれる。

なお、平成24・25年度に各地域で策定されるまちづくりの計画「地域魅力発信プラン」のもと、より効果的な事業に取り組まれることを期待する。

## 5 參考資料



## 分野別事業数

分野 地域	防犯・防災		地域福祉		環境		地域再生		健康づくり		伝統文化		地域教育		その他		計
	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	
中央東	2	16.7%	3	25.0%	2	16.7%	4	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	12
中央西	3	25.0%	2	16.7%	2	16.7%	4	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	1	8.3%	15
小戸	2	22.2%	2	22.2%	1	11.1%	0	0.0%	2	22.2%	1	11.1%	4	44.4%	1	11.1%	13
大宮	3	25.0%	2	16.7%	1	8.3%	0	0.0%	4	33.3%	0	0.0%	4	33.3%	2	16.7%	16
東大宮	3	16.7%	5	27.8%	3	16.7%	3	16.7%	3	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	18
大淀	7	36.8%	2	10.5%	3	15.8%	0	0.0%	2	10.5%	1	5.3%	0	0.0%	4	21.1%	19
大塚	4	26.7%	5	33.3%	2	13.3%	0	0.0%	1	6.7%	1	6.7%	6	40.0%	2	13.3%	21
榑	2	11.1%	4	22.2%	2	11.1%	3	16.7%	3	16.7%	2	11.1%	5	27.8%	2	11.1%	23
大塚台	3	25.0%	3	25.0%	3	25.0%	0	0.0%	2	16.7%	0	0.0%	3	25.0%	1	8.3%	15
生目台	1	10.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%	4	40.0%	11
小松台	2	16.7%	4	33.3%	3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	3	25.0%	14
赤江	6	27.3%	5	22.7%	4	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	31.8%	22
木花	2	15.4%	2	15.4%	2	15.4%	2	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	38.5%	13
青島	3	30.0%	2	20.0%	0	0.0%	3	30.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	11
住吉	2	15.4%	2	15.4%	2	15.4%	3	23.1%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%	2	15.4%	13
生目	4	16.7%	3	12.5%	7	29.2%	6	25.0%	1	4.2%	1	4.2%	0	0.0%	2	8.3%	24
北	2	18.2%	3	27.3%	0	0.0%	3	27.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%	3	27.3%	14
佐土原	3	21.4%	3	21.4%	2	14.3%	2	14.3%	1	7.1%	1	7.1%	1	7.1%	2	14.3%	15
那珂	2	18.2%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%	2	18.2%	1	9.1%	0	0.0%	4	36.4%	11
広瀬	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	6
広瀬北	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	3	37.5%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	2	25.0%	9
広瀬西	3	25.0%	1	8.3%	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	5	41.7%	12
田野	2	10.5%	4	21.1%	2	10.5%	7	36.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	21.1%	19
高岡	0	0.0%	2	25.0%	1	12.5%	7	87.5%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	3	37.5%	16
清武	2	25.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	4	50.0%	10
加納	3	37.5%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	2	25.0%	8
合計	68		63		48		55		29		13		37		67		380
割合	17.9%		16.6%		12.6%		14.5%		7.6%		3.4%		9.7%		17.6%		100.0%

※東大宮については、「地域再生」および「伝統文化」で「東大宮地域神楽鑑賞ツアー事業」など3事業を行っている。

※佐土原・広瀬小については、「防犯・防災」および「環境」で「安全安心で環境にやさしいまちづくり事業」を行っている。

○「その他」の例

- ・地域まちづくり推進委員会事務局管理運営事業
  - ・広報誌発行事業
  - ・リーダー育成事業
- 等

## 宮崎市地域コミュニティ活動交付金評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 地域コミュニティ活動交付金（以下「活動交付金」という。）の使途の透明性の確保や住民自治の向上に資するため、地域コミュニティ活動交付金評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 活動交付金を活用した事業の評価に関する事項を調査、審議し、報告書を作成すること。
- (2) 活動交付金の使途に関する事項を調査、審議すること。
- (3) 地域活動に関する意見交換、情報収集、情報提供を行うこと。
- (4) その他、活動交付金に関すること。

### (組織)

第3条 委員会には、別表に掲げる委員を置く。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、原則2年間とし、就任日の属する年度の翌年度の3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (委員会の運営)

第5条 委員会に会長を置き、委員の互選とする。

- 2 副会長は会長が指名するものとする。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 委員会は必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。
- 5 委員会は公開する。ただし、会長が必要と認めるときは、委員会に諮り、公開しないことができる。
- 6 委員会は必要に応じて関係者を出席させることができる。

### (報償)

第6条 委員が委員会等に出席したときは、報償として1日につき8,000円を支給することができる。ただし、2時間未満の場合には半額の4,000円とする。

2 関係者が委員会に出席したときは、報償として1日につき2,000円を支給することができる。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、地域振興部地域コミュニティ課において処理する。



(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成23年7月1日から施行する。
- 2 宮崎市地域コミュニティ税評価委員会設置要綱および宮崎市地域コミュニティ税使途研究会設置要綱は廃止する。

別 表

宮崎市地域コミュニティ活動交付金評価委員会名簿（9名）

（50音順）

所属団体等	氏 名	備 考
宮崎市社会福祉協議会常務理事	ありま あきお 有馬 明雄	福祉
宮崎公立大学人文学部教授	かねこ ただみつ 金子 正光	学識経験者
SVCみやざき監事	しばざき としゆき 芝崎 敏之	市民活動
宮崎文化振興協会理事長	たはら けんじ 田原 健二	文化
法政大学法学部教授	なわた よしひこ 名和田 是彦	学識経験者
宮崎大学教育文化学部准教授	ねぎし ひろたか 根岸 裕孝	学識経験者
宮崎市市民活動推進委員会委員	はらだ かずよ 原田 和代	市民活動
宮崎市PTA協議会会長	ますだ ようこ 増田 葉子	PTA協議会
宮崎青年会議所（元）理事長 NPOみやざき理事	まつだ しんすけ 松田 慎介	民間・市民活動